

大学番号：197

認可

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部の設置

日本福祉大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科

## 【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本福祉大学  
令和2年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

スポーツ科学部

＜スポーツ科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	38

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人日本福祉大学

## (2) 大学名

日本福祉大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒470-3295

愛知県知多郡美浜町奥田会下前35番6

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	マルヤマ サトル 丸山 悟 (平成25年4月)		
学長	ニキ リュウ 二木 立 (平成25年4月)	コダマ ヨシロウ 児玉 善郎 (平成29年4月)	任期満了に伴う変更 (29)
学部長	フジタ モトアキ 藤田 紀昭 (平成29年4月)		
学科長等	ヨシダ ノリヒサ 吉田 文久 (平成29年4月)	ニシムラ ナオキ 西村 直記 (平成31年4月)	任期満了に伴う変更 (元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)  
令和2年度に報告する内容 → (2)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
スポーツ科学部 スポーツ科学科  学士（スポーツ科学）	体育関係	4年	180人	なし 年次人	720人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	180 ( - ) [ - ]	-	180 ( - ) [ - ]	-	180 ( - ) [ - ]	-	180 ( ) [ ]	-	1.05倍	—	
志願者数	890 ( - ) [ - ]	-	755 ( - ) [ - ]	-	1051 ( ) [ 1 ]	-	424 ( - ) [ 1 ]	-			
受験者数	884 ( - ) [ - ]	-	746 ( - ) [ - ]	-	1028 ( ) [ 1 ]	-	407 ( - ) [ 1 ]	-			
合格者数	314 ( - ) [ - ]	-	332 ( - ) [ - ]	-	292 ( ) [ 1 ]	-	278 ( - ) [ - ]	-			
B 入学者数	196 ( - ) [ - ]	-	188 ( - ) [ - ]	-	196 ( ) [ 1 ]	-	182 ( - ) [ 2 ]	-			
入学定員超過率 B/A	1.08		1.04		1.08		1.01				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	196 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	189 [ - ] ( 1 )	— [ - ] ( - )	198 [ - ] ( 2 )	— [ - ] ( - )	183 [ - ] ( 1 )	— [ - ] ( - )	
2年次	/		195 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	182 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	198 [ - ] ( 6 )	— [ - ] ( - )	
3年次			/		/		187 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	177 [ - ] ( 1 )
4年次	/						/		/
計			196 [ - ] ( - )	384 [ - ] ( 1 )	567 [ - ] ( 2 )	741 [ - ] ( 8 )			

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	196 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	384 人	9 人	平成29年度	4 人	0 人	進路変更
			平成30年度	5 人	0 人	進路変更、経済的理由
令和元年度	567 人	7 人	平成29年度	2 人	0 人	進路変更、学業不振
			平成30年度	2 人	0 人	進路変更
			令和元年度	3 人	0 人	進路変更
令和2年度	741 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合計		16 人		16 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{196} = \boxed{0.00} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{384} = \boxed{2.34} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{567} = \boxed{1.23} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{741} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎科目	こころとからだ	1前	2								1
	視覚障害者支援論	1前	2								1
	ろう文化と手話	1前	2								1
	聴覚障害者の理解と支援	1前	1								1
	ふくしとフィールドワーク	1前	2								1
	法入門	1前	2								1
	福祉社会入門	1前	2								1
	知多学	1前	2								1
	経営学	1前	2								1
	統計学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	哲学	1前	2								1
	キャリア開発 I	1前	2								1
	日本福祉大学の歴史	1後	2								1
	地震と減災社会	1後	2								1
	日本国憲法	1後	2								1
	フレッシュマンイングリッシュ I-1	1前	1								6
	フレッシュマンイングリッシュ I-2	2前	1								2
	フレッシュマンイングリッシュ II-1	1後	1								6
	フレッシュマンイングリッシュ II-2	2後	1								2
	情報処理演習 I	1前	2								4
	情報処理演習 II	1後	2								2
	海外フィールドワーク	1後	4								1
	スポーツ実技	1通	2						1		5
	政治学	2前	2								1
	福祉の力	2前	2								1
	キャリア開発 II	2前	2								1
	コミュニケーション力演習	2前	2								1
	スポーツイングリッシュ I	3前	1								1
	経済学	2後	2								1
	文章作成力演習	2後	2								1
	ふくしと減災コミュニティ	2後	2								1
	知多半島のふくし	2後	2								1
	スポーツイングリッシュ II	3後	1								1
	生命と環境	3前	2								1
	ふくしフィールドワーク実践	3後	2								1
小計 (36科目)	-	6	61	0	0	0	0	1	0	35	
専門科目	生理学	1前	2		1	1					
	スポーツ科学入門	1前	2		5	3		5			
	スポーツ史	1前	2		1						
	スポーツ文化論	1前	2		1						
	スポーツビジネス	1前	2								1
	発育発達論 (運動発達・認識発達・ことばの発達)	1前	2								1
	機能解剖学	1前	2		1						
	認知心理学	1前	2		1			1			
	健康管理概論	1前	2		1						
	学校保健 A (小児・精神)	1前	2		1						
	野外スポーツ論	1前	2			1					
	スポーツ社会学	1後	2		1						
	ふくしスポーツ論	1後	2		1						
スポーツ哲学	1後	2			1						

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎科目	こころとからだ	1前	2								1
	視覚障害者支援論	1後	2								1
	ろう文化と手話	1後	2								1
	聴覚障害者の理解と支援	1前	1								1
	ふくしとフィールドワーク	1前	2								1
	法入門	1前	2								1
	福祉社会入門	1前	2								1
	知多学	1前	2								1
	経営学	1後	2								1
	統計学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	哲学	1後	2								1
	キャリア開発 I	1前	2								1
	日本福祉大学の歴史	1後	2								1
	地震と減災社会	1前	2								1
	日本国憲法	1後	2								1
	フレッシュマンイングリッシュ I-1	1前	1								4
	フレッシュマンイングリッシュ I-2	2前	1								1
	フレッシュマンイングリッシュ II-1	1後	1								4
	フレッシュマンイングリッシュ II-2	2後	1								1
	情報処理演習 I	1前	2								3
	情報処理演習 II	1後	2								3
	海外フィールドワーク	1後	4							1	
	スポーツ実技	1通	2							1	11
	政治学	2前	2								1
	福祉の力	2前	2								1
	キャリア開発 II	2前	2								1
	コミュニケーション力演習	2前	2								3
	スポーツイングリッシュ I	3前	1								1
	経済学	2後	2								1
	文章作成力演習	2後	2								4
	ふくしと減災コミュニティ	2後	2								1
	知多半島のふくし	2後	2								1
	スポーツイングリッシュ II	3後	1								1
	生命と環境	3後	2								1
	ふくしフィールドワーク実践	3後	2								3
	海外英語研修	1後	2								1
小計 (37科目)	-	6	63	0	0	0	0	1	0	40	
専門科目	生理学	1前	2		1	1					
	スポーツ科学入門	1前	2		5	5		3			
	スポーツ史	1前	2		1						
	スポーツ文化論	1前	2		1						
	スポーツビジネス	1後	2								1
	発育発達論 (運動発達・認識発達・ことばの発達)	1前	2								1
	機能解剖学	1前	2		1						
	認知心理学	1前	2		1		1				
	健康管理概論	1前	2		1						
	学校保健 A (小児・精神)	1後	2		1						
	野外スポーツ論	1前	2			1					
	スポーツ社会学	1前	2		1						
	ふくしスポーツ論	1後	2		1						
スポーツ哲学	1後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門科目	スポーツマネジメント	1後	2					1		
	スポーツ教育学	1後	2			1				
	スポーツキャリア教育	1後	2		1					
	スポーツ統計学	1後	2						1	
	スポーツと脳	1後	2		1			1		
	スポーツ生理学	1後	2			1				
	スポーツ心理学	1後	2		1					
	障害者スポーツ論	2前	2					1		
	スポーツ倫理学	2前	2			1				
	スポーツ支援者論	2前	2		1					
	身体表現・芸術表現論	2前	2					1		
	スポーツ・運動指導者論	2前	2		1					
	スポーツ医学A(内科系)	2前	2		1					
	スポーツ栄養学	2前	2					1		
	コーチング科学	2前	2						1	
	特別支援教育論	2前	2					1		
	肢体不自由児教育論	2前	2		1					
	スポーツバイオメカニクス	2前	2		1					
	スポーツ人類学	2後	2		1					
	地域スポーツ論	2後	2		1			1		
	武道論	2後	2						1	
	スポーツジェンダー論	2後	2			1				
	スポーツ医学B(外科系)	2後	2		1					
	トレーニング科学	2後	2			1				
	測定・評価	2後	2					1		1
	メンタルトレーニング	2後	2		1			1		
	知的障害児教育論	2後	2						1	
	スポーツ科学演習	2通	2		2	3		3	1	
	スポーツコミュニケーション	3前	2						1	
	スポーツメディア論	3前	2						1	
	衛生・公衆衛生学	3前	2		1					
	学校保健B(学校・救急処置)	3前	2		1					
	肢体不自由児の心理	3前	2		1					1
	肢体不自由児の生理と病理	3前	2						1	
	障害者スポーツ指導法演習A	3前	1			1				
	ふくしスポーツ演習	3前	4		1			1		
	スポーツ政策・行政論	3後	2						1	
	スポーツ法学	3後	2						1	
	アスレティックリハビリテーション	3後	2						1	
	加齢学	3後	2		1	1				
	肢体不自由児指導法	3後	2		1					
	障害者スポーツ指導法演習B	3後	1			1				
	コンディショニング演習	3後	2			1				1
	スポーツフィールドワークII-1	4前	2			1				
	スポーツフィールドワークII-2	4後	2		1					
専門実技(ダンス)	1前	1					1			
専門実技(野外運動A)	1前	1			1					
専門実技(陸上)	1後	1						1	3	
専門実技(バスケットボール)	1後	1						1		
専門実技(器械運動)	2前	1						1		
専門実技(水泳)	2前	1		1						
専門実技(バレーボール)	2前	1						1		
専門実技(柔道)	2後	1						1		
専門実技(アダプテッド・スポーツ)	2後	1			1		1			
専門実技(サッカー)	2後	1						1		
専門実技(バドミントン)	2後	1					1			
専門実技(野外運動B)	2後	1			1					
専門実技(野外運動C)	3前	1		1						
専門実技(ソフトボール)	3前	1						1		
専門実技(テニス)	3前	1						1	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門科目	スポーツマネジメント	1後	2					1		
	スポーツ教育学	1前	2			1				
	スポーツキャリア教育	1後	2		1					
	スポーツ統計学	1後	2						1	
	スポーツと脳	1前	2		1		1			
	スポーツ生理学	1後	2			1				
	スポーツ心理学	1後	2		1					
	障害者スポーツ論	2前	2						1	
	スポーツ倫理学	2前	2			1				
	スポーツ支援者論	2前	2		1					
	身体表現・芸術表現論	2前	2						1	
	スポーツ・運動指導者論	2前	2		1					
	スポーツ医学A(内科系)	2前	2		1					
	スポーツ栄養学	2後	2						1	
	コーチング科学	2後	2							1
	特別支援教育論	2前	2				1			
	肢体不自由児教育論	2前	2		1				1	
	スポーツバイオメカニクス	2前	2		1					
	スポーツ人類学	2後	2		1					
	地域スポーツ論	2前	2		1		1			
	武道論	2後	2							1
	スポーツジェンダー論	2後	2			1				
	スポーツ医学B(外科系)	2後	2		1					
	トレーニング科学	2後	2			1				
	測定・評価	2後	2						1	1
	メンタルトレーニング	2後	2		1			1		
	知的障害児教育論	2後	2							1
	スポーツ科学演習	2通	2		2	3		5	1	1
	スポーツコミュニケーション	3後	2						1	
	スポーツメディア論	3前	2						1	
	レクリエーション理論	3後	2							1
	衛生・公衆衛生学	3前	2		1					
	学校保健B(学校・救急処置)	3後	2		1					
	肢体不自由児の心理	3前	2		1					1
	肢体不自由児の生理と病理	3後	2							1
	障害者スポーツ指導法演習A	3前	1			1		1		
	ふくしスポーツ演習	3前	4		1			1		
	スポーツ政策・行政論	3前	2							1
	スポーツ法学	3後	2							1
	アスレティックリハビリテーション	3後	2							1
	加齢学	3後	2		1	1				
	肢体不自由児指導法	3後	2		1					
	障害者スポーツ指導法演習B	3後	1			1				
	コンディショニング演習	3前	2			1				1
	スポーツフィールドワークII-1	4前	2			1				
スポーツフィールドワークII-2	4後	2		1						
専門実技(ダンス)	1前	1						1		
専門実技(野外運動A)	1前	1			1					
専門実技(陸上)	1後	1							3	
専門実技(バスケットボール)	1後	1						1		
専門実技(器械運動)	2前	1						1		
専門実技(水泳)	2前	1		1						
専門実技(バレーボール)	2後	1						1		
専門実技(柔道)	2後	1						1		
専門実技(アダプテッド・スポーツ)	2後	1			1		1			
専門実技(サッカー)	2後	1						1		
専門実技(バドミントン)	2後	1					1			
専門実技(野外運動B)	2後	1			1					
専門実技(野外運動C)	3前	1		1						
専門実技(ソフトボール)	3前	1						1		
専門実技(テニス)	3前	1						1	1	





【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎科目	こころとからだ	1前	2							1	
	視覚障害者支援論	1前	2							1	
	ろう文化と手話	1前	2							1	
	聴覚障害者の理解と支援	1前	1							1	
	ふくしとフィールドワーク	1前	2							1	
	法入門	1前	2							1	
	福祉社会入門	1前	2							1	
	知多学	1前	2							1	
	経営学	1前	2							1	
	統計学	1前	2							1	
	社会学	1前	2							1	
	哲学	1前	2							1	
	キャリア開発Ⅰ	1前	2							1	
	日本福祉大学の歴史	1後	2							1	
	地震と減災社会	1後	2							1	
	日本国憲法	1後	2							1	
	フレッシュマンイングリッシュⅠ-1	1前	1							4	
	フレッシュマンイングリッシュⅠ-2	2前	1							2	
	フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	1後	1							4	
	フレッシュマンイングリッシュⅡ-2	2後	1							2	
	情報処理演習Ⅰ	1前	2							4	
	情報処理演習Ⅱ	1後	2							2	
	海外フィールドワーク	1後	4							1	
	スポーツ実技	1通	2					2		9	
	政治学	2前	2							1	
	福祉の力	2前	2							1	
	キャリア開発Ⅱ	2前	2							1	
	コミュニケーション力演習	2前	2							3	
	スポーツイングリッシュⅠ	3前	1							1	
	経済学	2後	2							1	
	文章作成力演習	2後	2							1	
	ふくしと減災コミュニティ	2後	2							1	
	知多半島のふくし	2後	2							1	
	スポーツイングリッシュⅡ	3後	1							1	
	生命と環境	3前	2							1	
	ふくしフィールドワーク実践	3後	2							1	
	海外英語研修	1後	2							1	
小計 (37科目)	-	6	63	0	0	0	0	2	0	37	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎科目	こころとからだ	1前	2							1	
	視覚障害者支援論	1前	2							1	
	ろう文化と手話	1前	2							1	
	聴覚障害者の理解と支援	1前	1							1	
	ふくしとフィールドワーク	1前	2							1	
	法入門	1前	2							1	
	福祉社会入門	1前	2							1	
	知多学	1前	2							1	
	経営学	1前	2							1	
	統計学	1前	2							1	
	社会学	1前	2							1	
	哲学	1前	2							1	
	キャリア開発Ⅰ	1前	2							1	
	日本福祉大学の歴史	1後	2							1	
	地震と減災社会	1後	2							1	
	日本国憲法	1後	2							1	
	フレッシュマンイングリッシュⅠ-1	1前	1							4	
	フレッシュマンイングリッシュⅠ-2	2前	1							1	
	フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	1後	1							4	
	フレッシュマンイングリッシュⅡ-2	2後	1							1	
	情報処理演習Ⅰ	1前	2							2	
	情報処理演習Ⅱ	1後	2							2	
	海外フィールドワーク	1後	4							1	
	スポーツ実技	1通	2					2		9	
	政治学	2前	2							1	
	福祉の力	2前	2							1	
	キャリア開発Ⅱ	2前	2							1	
	コミュニケーション力演習	2前	2							1	
	スポーツイングリッシュⅠ	3前	1							1	
	経済学	2後	2							1	
	文章作成力演習	2後	2							2	
	ふくしと減災コミュニティ	2後	2							1	
	知多半島のふくし	2後	2							1	
	スポーツイングリッシュⅡ	3後	1							1	
	生命と環境	3前	2							1	
	ふくしフィールドワーク実践	3後	2							3	
	海外英語研修	1後	2							1	
小計 (37科目)	-	6	63	0	0	0	0	2	0	40	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					教授	准教授	講師	助教	助手						
専門科目	生理学	1前		2		1	1						生理学	1前		2		1	1						
	スポーツ科学入門	1前	2			5	3			5			スポーツ科学入門	1前	2			5	3			5			
	スポーツ史	1前		2		1							スポーツ史	1前		2		1							
	スポーツ文化論	1前		2		1							スポーツ文化論	1前		2		1							
	スポーツビジネス	1前		2								1	スポーツビジネス	1前		2									1
	発育発達論 (運動発達・認識発達・ことばの発達)	1前		2								1	発育発達論 (運動発達・認識発達・ことばの発達)	1前		2									1
	機能解剖学	1前		2		1							機能解剖学	1後		2		1							
	認知心理学	1前		2		1			1				認知心理学	1前		2		1			1				
	健康管理概論	1前		2		1							健康管理概論	1前		2		1							
	学校保健A (小児・精神)	1前		2		1							学校保健A (小児・精神)	1前		2		1							
	野外スポーツ論	1前		2		1							野外スポーツ論	1前		2		1							
	スポーツ社会学	1後	2			1							スポーツ社会学	1後	2			1							
	ふくしスポーツ論	1後	2			1							ふくしスポーツ論	1後	2			1							
	スポーツ哲学	1後	2				1						スポーツ哲学	1後	2				1						
	スポーツマネジメント	1後		2					1				スポーツマネジメント	1後		2					1				
	スポーツ教育学	1後		2			1						スポーツ教育学	1後		2			1						
	スポーツキャリア教育	1後		2		1							スポーツキャリア教育	1後		2		1							
	スポーツ統計学	1後		2						1			スポーツ統計学	1後		2									1
	スポーツと脳	1後		2		1			1				スポーツと脳	1後		2		1			1				
	スポーツ生理学	1後	2				1						スポーツ生理学	1後	2				1						
	スポーツ心理学	1後	2			1							スポーツ心理学	1後	2			1							
	障害者スポーツ論	2前	2						1				障害者スポーツ論	2前	2						1				
	スポーツ倫理学	2前	2			1							スポーツ倫理学	2前	2			1							
	スポーツ支援者論	2前	2			1							スポーツ支援者論	2前	2			1							
	身体表現・芸術表現論	2前	2				1						身体表現・芸術表現論	2前	2				1			1			
	スポーツ・運動指導者論	2前	2			1							スポーツ・運動指導者論	2前	2			1							
	スポーツ医学A (内科系)	2前	2			1							スポーツ医学A (内科系)	2前	2			1							
	スポーツ栄養学	2後	2						1				スポーツ栄養学	2前	2							1			
	コーチング科学	2前	2							1			コーチング科学	2前	2										1
	特別支援教育論	2前	2			1					1		特別支援教育論	2前	2			1				1			
	肢体不自由児教育論	2前	2			1							肢体不自由児教育論	2前	2			1							
	スポーツバイオメカニクス	2前	2			1							スポーツバイオメカニクス	2前	2			1							
	スポーツ人類学	2後	2			1							スポーツ人類学	2後	2			1							
	地域スポーツ論	2後	2			1					1		地域スポーツ論	2後	2			1				1			
	武道論	2後	2									1	武道論	2後	2										1
	スポーツジェンダー論	2後	2				1						スポーツジェンダー論	2後	2				1						
	スポーツ医学B (外科系)	2後	2			1							スポーツ医学B (外科系)	2後	2			1							
	トレーニング科学	2後	2				1						トレーニング科学	2後	2				1						
	測定・評価	2後	2						1				測定・評価	2後	2					1					1
	メンタルトレーニング	2後	2			1					1		メンタルトレーニング	2後	2			1				1			
	知的障害児教育論	2後	2									1	知的障害児教育論	2後	2										1
	スポーツ科学演習	2通	2			2	3			3		1	スポーツ科学演習	2通	2			2	3		3				1
	スポーツコミュニケーション	3前		2								1	スポーツコミュニケーション	3前		2									1
	スポーツメディア論	3前		2								1	スポーツメディア論	3前		2									1
	レクリエーション理論	3前		2								1	レクリエーション理論	3前		2									1
衛生・公衆衛生学	3前		2		1							衛生・公衆衛生学	3前		2		1								
学校保健B (学校・救急処置)	3前		2		1							学校保健B (学校・救急処置)	3前		2		1								
肢体不自由児の心理	3前		2		1						1	肢体不自由児の心理	3前		2		1							1	
肢体不自由児の生理と病理	3前		2								1	肢体不自由児の生理と病理	3前		2									1	
障害者スポーツ指導法演習A	3前		1			1						障害者スポーツ指導法演習A	3前		1			1							
ふくしスポーツ演習	3前		4		1				1			ふくしスポーツ演習	3前		4		1			1					
スポーツ政策・行政論	3後		2								1	スポーツ政策・行政論	3後		2									1	
スポーツ法学	3後		2								1	スポーツ法学	3後		2									1	
アスレティックリハビリテーション	3後		2								1	アスレティックリハビリテーション	3後		2									1	
加齢学	3後		2		1	1						加齢学	3後		2		1	1							
肢体不自由児指導法	3後		2		1							肢体不自由児指導法	3後		2		1								
障害者スポーツ指導法演習B	3後		1			1						障害者スポーツ指導法演習B	3後		1			1							
コンディショニング演習	3前		2			1						コンディショニング演習	3前		2			1						1	
スポーツフィールドワークⅡ-1	4前		2			1						スポーツフィールドワークⅡ-1	4前		2			1							
スポーツフィールドワークⅡ-2	4後		2		1							スポーツフィールドワークⅡ-2	4後		2		1								
専門実技 (ダンス)	1前		1							1		専門実技 (ダンス)	1前		1									1	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
自由科目	教職入門B	1前			2							1
	知的障害児の心理	2前			2							1
	視覚・聴覚・病弱児論	2前			2							3
	教育原理B	2前			2							1
	教育と発達の心理学B	2前			2							1
	教育制度論B	2前			2							1
	教育課程論B	2前			2							1
	教育相談の基礎と方法B	2前			2							1
	知的障害児の生理と病理	2後			2							1
	道德教育の指導法B	2後			2							1
	教育方法論B	2後			2							1
	知的障害児指導法	3前			2		1					
	生徒・進路指導論B	3前			2							1
	発達障害児論	3後			2							1
	特別支援教育課程論	3後			2							1
	特別活動方法論B	3後			2							2
	教育実習ⅠB（事前事後）	3後~4前		1	2				1			
	教育実習ⅡB	4前		4	1				1			
	教育実習ⅢB	4前		2	1				1			
	障害児教育実習Ⅰ（事前事後）	4前~4後		1	1		1		1			
	障害児教育実習Ⅱ	4後		2	1		1		1			
	教職実践演習（中高）	4後		2	3		1					
	健康運動特論Ⅰ	3前			2				1			
	健康運動特論Ⅱ	3後			2				1			
	健康運動特論Ⅲ	3後			1							1
	健康産業施設現場研修	3前			2							1
	ビジネススキル	1後			2							1
	インターンシップⅠ	3・4			1							1
	インターンシップⅡ	3・4			2							1
小計（29科目）	-	0	0	56	4	1	0	3	0		16	
合計（174科目）	-	32	217	56	10	5	0	8	0		66	
卒業要件及び履修方法												
4年間以上在学するとともに、総合基礎科目25単位以上、専門科目76単位以上、計124単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
自由科目	教職入門（中高）	1前			2							1
	知的障害児の心理	2前			2							1
	視覚・聴覚・病弱児論	2前			2							3
	教育原理B	2前			2							1
	教育と発達の心理学B	2前			2							1
	特別支援教育概論（中高）	3後			2							1
	総合的な学習の時間の指導法（中高）	3前			2							1
	教育制度論B	2前			2							1
	教育課程論B	2前			2							1
	教育相談の基礎と方法B	2前			2							1
	知的障害児の生理と病理	2後			2							1
	道德教育の指導法B	2後			2							1
	教育方法論B	2後			2							1
	知的障害児指導法	3前			2		1					
	生徒・進路指導論B	3前			2							1
	発達障害児論	3後			2							1
	特別支援教育課程論	3後			2							1
	特別活動方法論B	3後			2							2
	教育実習ⅠB（事前事後）	3後~4前		1	2				1			
	教育実習ⅡB	4前		4	1				1			
	教育実習ⅢB	4前		2	1				1			
	障害児教育実習Ⅰ（事前事後）	4前~4後		1	1		1		1			
	障害児教育実習Ⅱ	4後		2	1		1		1			
	教職実践演習（中高）	4後		2	3		1					
	健康運動特論Ⅰ	3前			2				1			
	健康運動特論Ⅱ	3後			2				1			
	健康運動特論Ⅲ	3後			1							1
	健康産業施設現場実習	3前			2							1
	ビジネススキル	1後			2							1
	インターンシップⅠ	3・4			1							1
	インターンシップⅡ	3・4			2							1
小計（31科目）	-	0	0	60	4	1	0	3	0		16	
合計（176科目）	-	32	217	60	10	5	0	8	0		74	
卒業要件及び履修方法												
4年間以上在学するとともに、総合基礎科目25単位以上、専門科目76単位以上、計124単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））												

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					責 任 ・ 兼 担
			単 位 数	専 任 教 員 等 の 配 置	専 任 教 員 等 の 配 置	専 任 教 員 等 の 配 置	専 任 教 員 等 の 配 置	専 任 教 員 等 の 配 置	専 任 教 員 等 の 配 置		
総合 基礎 科目	こころからだ	1前	2								1
	視覚障害者支援論	1前	2								1
	ろう文化と手話	1前	2								1
	聴覚障害者の理解と支援	1前	1								1
	ふくしとフィールドワーク	1前	2								1
	法入門	1前	2								1
	福祉社会入門	1前	2								1
	知多学	1前	2								1
	経営学	1前	2								1
	統計学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	哲学	1前	2								1
	キャリア開発 I	1前	2								1
	日本福祉大学の歴史	1後	2								1
	地震と減災社会	1後	2								1
	日本国憲法	1後	2								1
	フレッシュマンイングリッシュⅠ-1	1前	1								4
	フレッシュマンイングリッシュⅠ-2	2前	1								2
	フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	1後	1								4
	フレッシュマンイングリッシュⅡ-2	2後	1								2
	情報処理演習Ⅰ	1前	2								4
	情報処理演習Ⅱ	1後	2								2
	海外フィールドワーク	1後	4								1
	スポーツ実技	1通	2					1			10
	政治学	2前	2								1
	福祉の力	2前	2								1
	キャリア開発Ⅱ	2前	2								1
	コミュニケーション力演習	2前	2								1
	スポーツイングリッシュⅠ	3前	1								1
	経済学	2後	2								1
	文章作成力演習	2後	2								1
	ふくしと減災コミュニティ	2後	2								1
	知多半島のふくし	2後	2								1
	スポーツイングリッシュⅡ	3後	1								1
	生命と環境	3前	2								1
	ふくしフィールドワーク実践	3後	2								1
	<b>海外英語研修</b>	<b>1後</b>	<b>2</b>								<b>1</b>
小計 (37科目)	-	6	63	0	0	0	0	1	0	38	
専門 科目	生理学	1前	2		1	1					
	スポーツ科学入門	1前	2		5	3		5			
	スポーツ史	1前	2		1						
	スポーツ文化論	1前	2		1						
	スポーツビジネス	1前	2								1
	発育発達論 (運動発達・認識発達・ことばの発達)	1前	2								1
	機能解剖学	1後	2								1
	認知心理学	1前	2		1			1			
	健康管理概論	1前	2		1						
	学校保健 A (小児・精神)	1前	2		1						
	野外スポーツ論	1前	2			1					
	スポーツ社会学	1後	2		1						
	ふくしスポーツ論	1後	2		1						
	スポーツ哲学	1後	2			1					
	スポーツマネジメント	1後	2					1			
	スポーツ教育学	1後	2			1					
	スポーツキャリア教育	1後	2		1						
	スポーツ統計学	1後	2								1
	スポーツと脳	1後	2		1			1			
	スポーツ生理学	1後	2			1					
	スポーツ心理学	1後	2		1						
	障害者スポーツ論	2前	2					1			
	スポーツ倫理学	2前	2			1					
	スポーツ支援者論	2前	2		1						
身体表現・芸術表現論	2前	2					1				
スポーツ・運動指導者論	2前	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	スポーツ医学A(内科系)	2前		2		1						
	スポーツ栄養学	2前		2					1			
	コーチング科学	2前		2							1	
	特別支援教育論	2前		2		1			1			
	肢体不自由児教育論	2前		2		1						
	スポーツバイオメカニクス	2前		2		1						
	スポーツ人類学	2後		2		1						
	地域スポーツ論	2後		2		1			1			
	武道論	2後		2							1	
	スポーツジェンダー論	2後		2			1					
	スポーツ医学B(外科系)	2後		2		1						
	トレーニング科学	2後	2				1					
	測定・評価	2後		2					1			
	メンタルトレーニング	2後		2		1			1			
	知的障害児教育論	2後		2							1	
	スポーツ科学演習	2通	2			2	3		3		1	
	スポーツコミュニケーション	3前		2							1	
	スポーツメディア論	3前		2							1	
	レクリエーション理論	3前		2							1	
	衛生・公衆衛生学	3前		2		1						
	学校保健B(学校・救急処置)	3前		2		1						
	肢体不自由児の心理	3前		2		1					1	
	肢体不自由児の生理と病理	3前		2							1	
	障害者スポーツ指導法演習A	3前		1			1					
	ふくしスポーツ演習	3前		4		1			1			
	スポーツ政策・行政論	3後		2							1	
	スポーツ法学	3後		2							1	
	アスレティックリハビリテーション	3後		2							1	
	加齢学	3後		2		1	1					
	肢体不自由児指導法	3後		2		1						
	障害者スポーツ指導法演習B	3後		1			1					
	コンディショニング演習	3前		2			1					
	スポーツフィールドワークⅡ-1	4前		2			1					
	スポーツフィールドワークⅡ-2	4後		2		1						
	専門実技(ダンス)	1前		1					1			
	専門実技(野外運動A)	1前		1			1					
	専門実技(陸上)	1後		1							2	
	専門実技(バスケットボール)	1後		1							1	
	専門実技(器械運動)	2前		1							1	
	専門実技(水泳)	2前		1		1						
	専門実技(バレーボール)	2前		1							1	
	専門実技(柔道)	2後		1							1	
	専門実技(アダブテッド・スポーツ)	2後		1			1		1			
	専門実技(サッカー)	2後		1							1	
	専門実技(バドミントン)	2後		1					1			
	専門実技(野外運動B)	2後		1			1					
	専門実技(野外運動C)	3前		1		1						
	専門実技(ソフトボール)	3前		1							1	
	専門実技(テニス)	3前		1					1			
	専門実技(卓球)	3前		1							1	
	専門実技(剣道)	3前		1							1	
	スポーツ指導法演習(陸上)	2前		1							1	
	スポーツ指導法演習(バスケットボール)	2前		1							1	
	スポーツ指導法演習(水泳・水中運動)	2後		1							1	
	スポーツ指導法演習(ダンス)	2後		1					1			
	スポーツ指導法演習(バレーボール)	3前		1		1					1	
	スポーツ指導法演習(サッカー)	3後		1							1	
	スポーツ指導法演習(テニス)	3後		1					1			
	スポーツ指導法演習(バドミントン)	3後		1					1			
	スポーツ指導法演習(卓球)	3後		1							1	
	スポーツ指導法演習(ゴルフ)	4前		1			1					
	スポーツ指導法演習(エアロビクス)	3前		1							1	
	スポーツ指導法演習(レクリエーション・ニュースポーツⅠ)	4前		1							1	
	スポーツ指導法演習(レクリエーション・ニュースポーツⅡ)	4後		1							1	
	保健体育科教育法Ⅰ(授業づくりの基礎理論)	2後		2		2						
	保健体育科教育法Ⅱ-A(陸上・器械運動)	3前		2							2	
	保健体育科教育法Ⅱ-B(球技・水泳)	3前		2		2						
	保健体育科教育法Ⅱ-C(武道)	3後		2							2	
	保健体育科教育法Ⅱ-D(ダンス・体育理論)	3後		2		1			1			
	保健体育科教育法Ⅲ(授業づくり)	3後		2		1			1			
	導入ゼミ	1通	2				1		7			
	スポーツフィールドワークⅠ	2通	2				5	5	6			
	専門演習Ⅰ	3通	2				9	4	4			
	専門演習Ⅱ	4通	4				9	4	4			
	小計(100科目)		-	26	146	0	9	5	0	8	0	21

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国人留学生・帰国生徒の特例科目	日本語と文化Ⅰ-1	1前		1								1
	日本語と文化Ⅰ-2	1後		1								1
	日本語と文化Ⅱ-1	1前		1								1
	日本語と文化Ⅱ-2	1後		1								1
	日本語と文化Ⅲ-1	2前		1								1
	日本語と文化Ⅲ-2	2後		1								1
	日本語と文化Ⅳ-1	2前		1								1
	日本語と文化Ⅳ-2	2後		1								1
小計(8科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	2	
自由科目	教職入門B	1前			2							1
	知的障害児の心理	2前			2							2
	視覚・聴覚・病弱児論	2前			2							3
	教育原理B	2前			2							1
	教育と発達の心理学B	2前			2							1
	教育制度論B	2前			2							2
	教育課程論B	2前			2							2
	教育相談の基礎と方法B	2前			2							1
	知的障害児の生理と病理	2後			2							1
	道徳教育の指導法B	2後			2							2
	教育方法論B	2後			2							2
	知的障害児指導法	3前			2		1					
	生徒・進路指導論B	3前			2							1
	発達障害児論	3後			2							1
	特別支援教育課程論	3後			2							1
	特別活動方法論B	3後			2							2
	教育実習ⅠB(事前事後)	3後~4前		1	2				1			
	教育実習ⅡB	4前		4	1				1			
	教育実習ⅢB	4前		2	1				1			
	障害児教育実習Ⅰ(事前事後)	4前~4後		1	1	1			1			
	障害児教育実習Ⅱ	4後		2	1	1			1			
	教職実践演習(中高)	4後		2	3	1						
	健康運動特論Ⅰ	3前			2				1			
	健康運動特論Ⅱ	3後			2				1			
	ビジネススキル	1後			2							1
	インターンシップⅠ	3・4			1							1
	インターンシップⅡ	3・4			2							1
小計(27科目)	-	0	0	53	4	1	0	3	0	20		
合計(172科目)	-	32	217	53	9	5	0	8	0	72		

卒業要件及び履修方法

4年間以上在学するとともに、総合基礎科目25単位以上、専門科目76単位以上、計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限：48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)



(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当者の変更により、「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」の兼任教員を「6」から「4」に変更。
- ・担当者の変更により、「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」の兼任教員を「6」から「4」に変更。
- ・担当者の変更により、「スポーツ実技」の兼任教員を「5」から「10」に変更。
- ・専任教員赴任年度遅延により、「機能解剖学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・専任教員赴任年度遅延により、「機能解剖学」の専任教員等の配置から「教授1」を削除。
- ・専任教員赴任年度遅延により、「機能解剖学」の兼任教員に「1」を追加。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「特別支援教育論」の専任教員等の配置に「教授1」を追加。
- ・教育課程充実により、「レクリエーション理論（3前 選択 2単位 兼任1）」を追加。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「肢体不自由児の心理」の兼任教員「1」を追加。
- ・履修順序の適正化により、「コンディショニング演習」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・開講クラス数増加により、「専門実技（陸上）」の兼任教員を「1」から「2」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「スポーツ指導法演習（エアロビクス）」の配当年次を「4前」から「3前」に変更。
- ・科目名称変更により、「スポーツ指導法演習（レクリエーション・ニュースポーツ）」を「スポーツ指導法演習（レクリエーション・ニュースポーツⅠ）」に変更。
- ・教育課程充実により、「スポーツ指導法演習（レクリエーション・ニュースポーツⅡ）（4後 選択 1単位 兼任1）」を追加。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「知的障害児の心理」の兼任教員を「1」から「2」に変更。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「教育制度論B」の兼任教員を「1」から「2」に変更。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「教育課程論B」の兼任教員を「1」から「2」に変更。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「道德教育の指導法B」の兼任教員を「1」から「2」に変更。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「教育方法論B」の兼任教員を「1」から「2」に変更。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「特別活動方法論B」の兼任教員を「1」から「2」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「健康運動特論Ⅰ」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「健康運動特論Ⅱ」の配当年次を「4前」から「3後」に変更。

【平成30年度】

- ・担当者の変更により、「スポーツ実技」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当者の変更により、「スポーツ実技」の兼任教員を「10」から「9」に変更。
- ・教育課程充実により、「海外英語研修（1後 選択 2単位 兼任1）」を追加。
- ・専任教員赴任により、「機能解剖学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・専任教員赴任により、「機能解剖学」の専任教員等の配置に「教授1」を追加。
- ・専任教員赴任により、「機能解剖学」の兼任教員「1」を削除。
- ・開講クラス数増加により、「専門実技（陸上）」の兼任教員を「2」から「3」に変更。
- ・担当者の変更により、「知的障害児の心理」の兼任教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当者の変更により、「教育制度論B」の兼任教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当者の変更により、「教育課程論B」の兼任教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当者の変更により、「道德教育の指導法B」の兼任教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当者の変更により、「教育方法論B」の兼任教員を「2」から「1」に変更。
- ・教育課程充実により、「健康運動特論Ⅲ（3後 自由 1単位 兼任1）」を追加。
- ・教育課程充実により、「健康産業施設現場研修（3前 自由 2単位 兼任1）」を追加。

【令和元年度】

- ・担当者の変更により、「フレッシュマンイングリッシュⅠ-2」の兼任教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当者の変更により、「フレッシュマンイングリッシュⅡ-2」の兼任教員を「2」から「1」に変更。
- ・開講クラス数増加により、「文章作成力演習」の兼任教員を「1」から「2」に変更。
- ・開講クラス数増加により、「ふくしフィールドワーク実践」の兼任教員を「1」から「3」に変更。
- ・開講クラス数増加により、「測定・評価」の兼任教員を「0」から「1」に変更。
- ・開講クラス数増加により、「専門実技（テニス）」の兼任教員を「0」から「1」に変更。
- ・開講クラス数増加により、「スポーツ指導法演習（ダンス）」の兼任教員を「0」から「1」に変更。
- ・開講クラス数増加により、「スポーツ指導法演習（サッカー）」の兼任教員を「1」から「2」に変更。
- ・開講クラス数増加により、「スポーツ指導法演習（テニス）」の兼任教員を「0」から「1」に変更。
- ・教育職員免許法施行規則の改正により、「教職入門B」の科目名称を「教職入門（中高）」に変更。
- ・教育職員免許法施行規則の改正により、「特別支援教育概論（中高）」を追加。
- ・教育職員免許法施行規則の改正により、「総合的な学習の時間の指導法（中高）」を追加。

【令和2年度】

- ・新型コロナウイルス感染症への対応により、「視覚障害者支援論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応により、「ろう文化と手話」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「経営学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「哲学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「地震と防災社会」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「生命と環境」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「スポーツビジネス」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「学校保健A（小児・精神）」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「スポーツ社会学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「スポーツ教育学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「スポーツと脳」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「スポーツ栄養学」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「コーチング科学」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「地域スポーツ論」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「スポーツコミュニケーション」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「レクリエーション理論」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「学校保健B（学校・救急処置）」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「肢体不自由児の生理と病理」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「スポーツ政策・行政論」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「保健体育科教育法Ⅰ（授業づくりの基礎理論）」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「保健体育科教育法Ⅲ（授業づくり）」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「知的障害児の心理」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「知的障害児の生理と病理」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「知的障害児指導法」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「発達障害児論」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応による実習時期の変更に伴い、「教育実習ⅡB」の配当年次を「4前」から「4通」に変更。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応による実習時期の変更に伴い、「教育実習ⅢB」の配当年次を「4前」から「4通」に変更。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応による実習時期の変更に伴い、「障害児教育実習Ⅱ」の配当年次を「4後」から「4通」に変更。
- ・履修順序の適正化により、「健康産業施設現場実習」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・担当者の変更により、「情報処理演習Ⅰ」の兼任教員を「2」から「3」に変更。
- ・担当者の変更により、「情報処理演習Ⅱ」の兼任教員を「2」から「3」に変更。
- ・担当者の変更により、「スポーツ実技」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・開講クラス数増加および担当者の変更により、「スポーツ実技」の兼任教員を「9」から「11」に変更。
- ・開講クラス数増加および担当者の変更により、「コミュニケーション力演習」の兼任教員を「2」から「3」に変更。
- ・担当者の変更により、「文章作成力演習」の兼任教員を「2」から「4」に変更。
- ・職位の変更および担当者の変更により、「スポーツ科学入門」の専任教員の配置を「准助教3」から「准教授5」、「助教5」から「助教3」に変更。
- ・職位の変更により、「認知心理学」の専任教員の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者の変更により、「スポーツマネジメント」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・職位の変更により、「スポーツと脳」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者の変更により、「地域スポーツ論」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・職位の変更により、「メンタルトレーニング」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・職位の変更および担当者の変更により、「スポーツ科学演習」の専任教員の配置を「准助教3」から「准教授5」、「助教3」から「助教1」に変更。
- ・職位の変更により、「障害者スポーツ指導法演習A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・職位の変更により、「スポーツフィールドワークⅡ-1」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・職位の変更により、「専門実技（アダプテッド・スポーツ）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・職位の変更および担当者の変更により、「導入ゼミ」の専任教員の配置を「助教7」から「助教5」、「准教授1」から「准教授2」に変更。「教授1」を追加。
- ・職位の変更および担当者の変更により、「スポーツフィールドワークⅠ」の専任教員の配置を「助教6」から「助教4」、「准教授5」から「准教授6」に変更。「教授5」に変更。
- ・職位の変更および担当者の変更により、「専門演習Ⅰ」の専任教員の配置を「助教4」から「助教2」、「教授9」から「教授10」に変更。
- ・職位の変更および担当者の変更により、「専門演習Ⅱ」の専任教員の配置を「助教4」から「助教2」、「教授9」から「教授10」に変更。「兼任1」を追加。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
16 科目	126 科目	27 科目	169 科目	16 科目	129 科目	31 科目	176 科目	
				[ ]	[ 3 ]	[ 4 ]	[ 7 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{169} = \boxed{\phantom{0}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学生寮跡地において更正登記をしたため		
	校舎敷地	175,697.85 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	175,697.85 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	58,263.63 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	58,263.63 m <sup>2</sup>			
	小 計	233,961.48 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	233,961.48 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	35,892.68 m <sup>2</sup> <del>35,811.68</del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	35,892.68 m <sup>2</sup>			
合 計	269,854.16 m <sup>2</sup> <del>269,773.16</del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	269,854.16 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	78,969.05 m <sup>2</sup> <del>78,969.04</del> ( 78,969.04 m <sup>2</sup> )	共 用 0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	共用する他の 学校等の専用 0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	計 78,969.05 m <sup>2</sup> <del>78,969.04</del> ( 78,969.04 m <sup>2</sup> )	竣工後に建物面積を修正したため。文科省相談済 (29)		
	講 義 室 0 室 133 室	演 習 室 5 室 151 室	実験実習室 3 室 405 室	情報処理学習施設 0 室 3 室 (補助職員 0人) (補助職員 39人)	語学学習施設 0 室 (補助職員 0人)			
(3) 教 室 等	新設学部等の名称		室 数			大学全体値から対象学部値へ変更(29)		
(4) 専任教員研究室	スポーツ科学部 スポーツ科学科		18 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 596,247冊 〔110,489冊〕 <del>586,843冊</del> <del>〔112,662冊〕</del> -577,830冊 <del>〔113,206冊〕</del> -566,702冊 <del>〔112,761冊〕</del> 534,071冊 <del>〔112,933冊〕</del> 学術雑誌 5,017種 〔1,170種〕 <del>5,010種</del> <del>〔1,170種〕</del> 4,989種 <del>〔1,167種〕</del> 4,955種 <del>〔1,161種〕</del> 4,552種 <del>〔1,041種〕</del> 電子ジャーナル 8,013種 〔6,443種〕 <del>7,378種</del> <del>〔6,939種〕</del> 8,038種 <del>〔5,971種〕</del> 7,963種 <del>〔5,965種〕</del> 8,790種 <del>〔7,256種〕</del>  教育環境の充実を図るため(2) 教育環境の充実を図るため(元) 教育環境の充実を図るため(30) 教育環境の充実を図るため(29)
	スポーツ科学部	9,283 [760] <del>9,283 [760]</del> <del>〔8,771 [714]〕</del> <del>〔7,971 [614]〕</del> <del>〔7,171 [514]〕</del>	170 [49] <del>〔171 [50]〕</del> <del>〔170 [49]〕</del>	3,293 [2,675] <del>〔4,232 [2,732]〕</del> <del>〔3,410 [2,627]〕</del> <del>〔3,445 [2,601]〕</del> <del>〔3,340 [2,542]〕</del> <del>〔3,293 [2,675]〕</del>	392 <del>〔392〕</del> <del>〔352〕</del> <del>〔302〕</del>	217 <del>〔217〕</del>	1 <del>〔1〕</del>	
	計	9,283 [760] <del>9,283 [760]</del> <del>〔8,771 [714]〕</del> <del>〔7,971 [614]〕</del> <del>〔7,171 [514]〕</del>	170 [49] <del>〔171 [50]〕</del> <del>〔170 [49]〕</del>	3,293 [2,675] <del>〔4,232 [2,732]〕</del> <del>〔3,410 [2,627]〕</del> <del>〔3,445 [2,601]〕</del> <del>〔3,340 [2,542]〕</del> <del>〔3,293 [2,675]〕</del>	392 <del>〔392〕</del> <del>〔352〕</del> <del>〔302〕</del>	217 <del>〔217〕</del>	1 <del>〔1〕</del>	
	図 書 館	面 積 5,184.56 m <sup>2</sup>	閱 覧 座 席 数 905 席 992 席	収 納 可 能 冊 数 788,625 冊	大学全体 教育環境の充実を図るため (29)			
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体 記載漏れ (29)	
	3,718.29 m <sup>2</sup>	人工芝グラウンド、球技場、野球場、アーチェリー場、屋内練習場、武道場、プール (1施設)、トレーニング室 (1施設)、テニスコート (4面+2面)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究費は構成員の平均値を記載 (2)
		教員 1人当り研究費等 486千円 550千円	447千円 550千円	図書購入費	9,710千円	5,350千円	0千円	
	共同研究費等 15,200千円 2,500千円	17,200千円 2,500千円	設備購入費	257,995千円 271,556千円	0千円	0千円	※図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。	
	学生 1人当り納付金	第 1 年次 1,410千円	第 2 年次 1,210千円	第 3 年次 1,210千円	第 4 年次 1,210千円	第 5 年次 千円	第 6 年次 千円	一部備品変更 (事前相談済) 過剰計上の教員・備品を削除したため。(29)
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用・事業収入等を充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA/C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消しするとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	日本福祉大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度			
スポーツ科学部	4	180	-	540	-	1.05	1.01	-	平成29年度	-	
スポーツ科学科	4	180	-	540	学士 (スポーツ科学)	1.05	1.01	-	平成29年度	愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6	
社会福祉学部	4	400	3年次40	1,770	-	1.01	0.89	-	昭和32年度	-	
社会福祉学科	4	400	3年次40	1,770	学士 (社会福祉学)	1.01	0.89	平成29	昭和32年度	愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6	
経済学部	4	200	-	800	-	1.05	1.03	-	昭和51年度	-	
経済学科	4	200	-	800	学士 (経済学)	1.05	1.03	-	昭和51年度	愛知県東海市大田町川南新田229	
健康科学部	4	190	-	760	-	1.08	1.10	-	平成20年度	-	
リハビリテーション学科	4	120	-	480	学士 (健康科学)	0.97	0.93	-	平成20年度	愛知県半田市東生見町26番2	
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (健康科学)	1.13	0.97	-	平成20年度	同上	
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (健康科学)	1.07	1.02	-	平成20年度	同上	
介護学専攻	4	40	-	160	学士 (健康科学)	0.72	0.80	-	平成20年度	同上	
福祉工学科	4	70	-	280	学士 (健康科学)	1.27	1.40	-	平成20年度	同上	
教育・心理学部	4	315	-	1,260	-	0.92	0.96	-	平成20年度	-	令和2年度より名称変更
子ども発達学科	4	215	-	755	学士 (子ども発達)	0.85	0.80	平成31	平成20年度	愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6	定員変更 (35)
心理学科	4	100	-	505	学士 (心理学)	1.08	1.32	平成31	平成20年度	同上	定員変更 (△35)、 令和2年度より名称変更
国際福祉開発学部	4	80	-	320	-	1.03	1.10	-	平成20年度	-	
国際福祉開発学科	4	80	-	320	学士 (国際福祉開発学)	1.03	1.10	-	平成20年度	愛知県東海市大田町川南新田229	
看護学部	4	100	-	400	-	1.04	1.08	-	平成27年度	-	
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.04	1.08	-	平成27年度	愛知県東海市大田町川南新田229	
福祉経営学部	4	800	3年次400	4,000	-	0.76	0.65	-	平成15年度	-	
医療・福祉マネジメント学科 (通信教育)	4	800	3年次400	4,000	学士 (福祉経営学)	0.76	0.65	-	平成15年度	愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6	

大学の名称		日本福祉大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
社会福祉学研究科	2	40	-	80	-	1.16	1.10	-	昭和44年度	-	
心理臨床専攻修士課程	2	10	-	20	修士 (心理臨床)	1.00	1.00	-	平成15年度	愛知県名古屋市中区千代田五丁目22番35号	
社会福祉学専攻修士課程 (通信教育)	2	30	-	60	修士 (社会福祉学)	1.22	1.13	-	平成16年度	同上	
医療・福祉マネジメント研究科	2	30	-	60	-	0.72	0.60	-	平成21年度	-	
医療・福祉マネジメント専攻修士課程	2	30	-	60	修士 (医療・福祉マネジメ)	0.72	0.60	-	平成21年度	愛知県名古屋市中区千代田五丁目22番35号	
国際社会開発研究科	2	25	-	50	-	0.64	0.68	-	平成14年度	-	
国際社会開発専攻修士課程 (通信教育)	2	25	-	50	修士 (開発学)	0.64	0.68	-	平成14年度	愛知県名古屋市中区千代田五丁目22番35号	
看護学研究科	2	10	-	20	-	-	0.70		令和2年度	-	
看護学専攻修士課程	2	10	-	20	修士 (看護学)	-	0.70		令和2年度	愛知県東海市大田町川南新田229	
福祉社会開発研究科	9	14	-	42	-	0.79	0.79	-	平成19年度	-	
社会福祉学専攻博士課程	3	8	-	24	博士 (社会福祉学)	1.04	1.13	-	平成19年度	愛知県名古屋市中区千代田五丁目22番35号	
福祉経営専攻博士課程	3	2	-	6	博士 (福祉経営)	0.17	0.00	-	平成19年度	同上	
国際社会開発専攻博士課程 (通信教育)	3	4	-	12	博士 (開発学)	0.58	0.50	-	平成19年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	新井 博 <平成29年4月>	新井 博 <平成29年4月>	新井 博 <平成29年4月>	新井 博 <平成29年4月>	新井 博 <平成29年4月>
		スポーツ科学入門 スポーツ史 スポーツ文化論 スポーツ・運動指導者論 地域スポーツ論 スポーツ指導法演習(ハレーボール) スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	スポーツ科学入門 スポーツ史 スポーツ文化論 スポーツ・運動指導者論 地域スポーツ論 スポーツ指導法演習(ハレーボール) スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	スポーツ科学入門 スポーツ史 スポーツ文化論 スポーツ・運動指導者論 地域スポーツ論 スポーツ指導法演習(ハレーボール) スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	スポーツ科学入門 スポーツ史 スポーツ文化論 スポーツ・運動指導者論 地域スポーツ論 スポーツ指導法演習(ハレーボール) スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	スポーツ科学入門 スポーツ史 スポーツ文化論 スポーツ・運動指導者論 地域スポーツ論 スポーツ指導法演習(ハレーボール) スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ
専	教授	荒木 雅信 <平成30年4月>	荒木 雅信 <平成30年4月>	荒木 雅信 <平成30年4月>	荒木 雅信 <平成30年4月>	荒木 雅信 <平成30年4月>
		認知心理学 スポーツ心理学 メンタルトレーニング スポーツ科学演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	認知心理学 スポーツ心理学 メンタルトレーニング スポーツ科学演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	認知心理学 スポーツ心理学 メンタルトレーニング スポーツ科学演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	認知心理学 スポーツ心理学 メンタルトレーニング スポーツ科学演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	認知心理学 スポーツ心理学 メンタルトレーニング スポーツ科学演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ
兼任	講師	荒木 雅信 <平成29年4月>	荒木 雅信 <平成29年4月>			
		認知心理学 スポーツ心理学	認知心理学 スポーツ心理学			
専	教授	江口 昇勇 <平成30年4月>	江口 昇勇 <平成30年4月>	江口 昇勇 <平成30年4月>	江口 昇勇 <平成30年4月>	江口 昇勇 <平成30年4月>
		肢体不自由児の心理 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	肢体不自由児の心理 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	肢体不自由児の心理 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	肢体不自由児の心理 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	肢体不自由児の心理 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ
専	教授	金森 克浩 <平成30年4月>	金森 克浩 <平成30年4月>	金森 克浩 <平成30年4月>	金森 克浩 <平成30年4月>	金森 克浩 <平成30年4月>
		肢体不自由児教育論 肢体不自由児指導法 障害児教育実習Ⅰ(事前事後) 障害児教育実習Ⅱ 教職実践演習(中高)	肢体不自由児教育論 肢体不自由児指導法 障害児教育実習Ⅰ(事前事後) 障害児教育実習Ⅱ 教職実践演習(中高) <b>特別支援教育論</b>	肢体不自由児教育論 肢体不自由児指導法 障害児教育実習Ⅰ(事前事後) 障害児教育実習Ⅱ 教職実践演習(中高) <b>特別支援教育論</b>	肢体不自由児教育論 肢体不自由児指導法 障害児教育実習Ⅰ(事前事後) 障害児教育実習Ⅱ 教職実践演習(中高) <b>特別支援教育論</b>	肢体不自由児教育論 肢体不自由児指導法 障害児教育実習Ⅰ(事前事後) 障害児教育実習Ⅱ 教職実践演習(中高) <b>特別支援教育論</b>
専	教授	合屋 十四秋 <平成29年4月>	合屋 十四秋 <平成29年4月>	合屋 十四秋 <平成29年4月>	合屋 十四秋 <平成29年4月>	合屋 十四秋 <平成29年4月>
		スポーツ科学入門 スポーツバイオメカニクス 専門実技(水泳) 専門実技(野外運動C) 保健体育科教育法Ⅱ-B(球技・水泳) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 教職実践演習(中高)	スポーツ科学入門 スポーツバイオメカニクス 専門実技(水泳) 専門実技(野外運動C) 保健体育科教育法Ⅱ-B(球技・水泳) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 教職実践演習(中高)	スポーツ科学入門 スポーツバイオメカニクス 専門実技(水泳) 専門実技(野外運動C) 保健体育科教育法Ⅱ-B(球技・水泳) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 教職実践演習(中高)	スポーツ科学入門 スポーツバイオメカニクス 専門実技(水泳) 専門実技(野外運動C) 保健体育科教育法Ⅱ-B(球技・水泳) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 教職実践演習(中高)	スポーツ科学入門 スポーツバイオメカニクス 専門実技(水泳) 専門実技(野外運動C) 保健体育科教育法Ⅱ-B(球技・水泳) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 教職実践演習(中高)
専	教授	白石 龍生 <平成30年4月>	白石 龍生 <平成30年4月>	白石 龍生 <平成30年4月>	白石 龍生 <平成30年4月>	白石 龍生 <平成30年4月>
		健康管理概論 学校保健A(小児・精神) 衛生・公衆衛生学 学校保健B(学校・救急処置) 保健体育科教育法Ⅰ(授業づくりの基礎理論) 保健体育科教育法Ⅱ(授業づくり) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 教育実習ⅠB(事前事後)	健康管理概論 学校保健A(小児・精神) 衛生・公衆衛生学 学校保健B(学校・救急処置) 保健体育科教育法Ⅰ(授業づくりの基礎理論) 保健体育科教育法Ⅱ(授業づくり) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 教育実習ⅠB(事前事後)	健康管理概論 学校保健A(小児・精神) 衛生・公衆衛生学 学校保健B(学校・救急処置) 保健体育科教育法Ⅰ(授業づくりの基礎理論) 保健体育科教育法Ⅱ(授業づくり) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 教育実習ⅠB(事前事後)	健康管理概論 学校保健A(小児・精神) 衛生・公衆衛生学 学校保健B(学校・救急処置) 保健体育科教育法Ⅰ(授業づくりの基礎理論) 保健体育科教育法Ⅱ(授業づくり) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 教育実習ⅠB(事前事後)	健康管理概論 学校保健A(小児・精神) 衛生・公衆衛生学 学校保健B(学校・救急処置) 保健体育科教育法Ⅰ(授業づくりの基礎理論) 保健体育科教育法Ⅱ(授業づくり) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 教育実習ⅠB(事前事後)
兼任	講師	白石 龍生 <平成29年4月>	白石 龍生 <平成29年4月>			
		健康管理概論 学校保健A(小児・精神)	健康管理概論 学校保健A(小児・精神)			
専	教授	城川 哲也 <平成29年4月>	城川 哲也 <平成29年4月>	城川 哲也 <平成29年4月>	城川 哲也 <平成29年4月>	城川 哲也 <平成29年4月>
		生理学 スポーツと脳 スポーツ科学演習 加齢学 スポーツフィールドワークⅡ-2 スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	生理学 スポーツと脳 スポーツ科学演習 加齢学 スポーツフィールドワークⅡ-2 スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	生理学 スポーツと脳 スポーツ科学演習 加齢学 スポーツフィールドワークⅡ-2 スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	生理学 スポーツと脳 スポーツ科学演習 加齢学 スポーツフィールドワークⅡ-2 スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	生理学 スポーツと脳 スポーツ科学演習 加齢学 スポーツフィールドワークⅡ-2 スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	岡田 雄樹 <平成29年4月>	専	助教	岡田 雄樹 <平成29年4月>	専	助教	岡田 雄樹 <平成29年4月>	専	助教	岡田 雄樹 <平成29年4月>	専	助教	岡田 雄樹 <平成29年4月>
		スポーツ科学入門 保健体育科教育法Ⅲ (授業づくり) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 教育実習ⅠB (事前事後) 教育実習ⅡB 教育実習ⅢB			スポーツ科学入門 保健体育科教育法Ⅲ (授業づくり) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 教育実習ⅠB (事前事後) 教育実習ⅡB 教育実習ⅢB			スポーツ科学入門 保健体育科教育法Ⅲ (授業づくり) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 教育実習ⅠB (事前事後) 教育実習ⅡB 教育実習ⅢB			スポーツ科学入門 保健体育科教育法Ⅲ (授業づくり) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 教育実習ⅠB (事前事後) 教育実習ⅡB 教育実習ⅢB			スポーツ科学入門 保健体育科教育法Ⅲ (授業づくり) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 教育実習ⅠB (事前事後) 教育実習ⅡB 教育実習ⅢB
専	助教	甲斐(村田) 久実代 <平成29年4月>	専	助教	甲斐(村田) 久実代 <平成29年4月>	専	助教	甲斐(村田) 久実代 <平成29年4月>	専	助教	甲斐(村田) 久実代 <平成29年4月>	専	助教	甲斐(村田) 久実代 <平成29年4月>
		身体表現・芸術表現論 専門実技 (ダンス) スポーツ指導法演習 (ダンス) 保健体育科教育法Ⅱ-0 (ダンス・体育理論) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ			身体表現・芸術表現論 専門実技 (ダンス) スポーツ指導法演習 (ダンス) 保健体育科教育法Ⅱ-0 (ダンス・体育理論) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ			身体表現・芸術表現論 専門実技 (ダンス) スポーツ指導法演習 (ダンス) 保健体育科教育法Ⅱ-0 (ダンス・体育理論) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ			身体表現・芸術表現論 専門実技 (ダンス) スポーツ指導法演習 (ダンス) 保健体育科教育法Ⅱ-0 (ダンス・体育理論) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ			身体表現・芸術表現論 専門実技 (ダンス) スポーツ指導法演習 (ダンス) 保健体育科教育法Ⅱ-0 (ダンス・体育理論) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ
専	助教	兄玉 友 <平成29年4月>	専	助教	兄玉 友 <平成29年4月>	専	助教	兄玉 友 <平成29年4月>	専	助教	兄玉 友 <平成29年4月>	専	助教	兄玉 友 <平成29年4月>
		スポーツ実技 専門実技 (アグアテッド・スポーツ) 専門実技 (バドミントン) スポーツ指導法演習 (バドミントン) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ			スポーツ実技 専門実技 (アグアテッド・スポーツ) 専門実技 (バドミントン) スポーツ指導法演習 (バドミントン) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ			スポーツ実技 専門実技 (アグアテッド・スポーツ) 専門実技 (バドミントン) スポーツ指導法演習 (バドミントン) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ			スポーツ実技 専門実技 (アグアテッド・スポーツ) 専門実技 (バドミントン) スポーツ指導法演習 (バドミントン) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ			スポーツ実技 専門実技 (アグアテッド・スポーツ) 専門実技 (バドミントン) スポーツ指導法演習 (バドミントン) 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ
専	助教	千葉 洋平 <平成29年4月>	専	助教	千葉 洋平 <平成29年4月>	専	助教	千葉 洋平 <平成29年4月>	専	助教	千葉 洋平 <平成29年4月>	専	助教	千葉 洋平 <平成29年4月>
		スポーツ科学入門 スポーツマネジメント 地域スポーツ論 スポーツ科学演習 ふくしスポーツ演習 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ			スポーツ科学入門 スポーツマネジメント 地域スポーツ論 スポーツ科学演習 ふくしスポーツ演習 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ			スポーツ科学入門 スポーツマネジメント 地域スポーツ論 スポーツ科学演習 ふくしスポーツ演習 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ			スポーツ科学入門 スポーツマネジメント 地域スポーツ論 スポーツ科学演習 ふくしスポーツ演習 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ			スポーツ科学入門 スポーツマネジメント 地域スポーツ論 スポーツ科学演習 ふくしスポーツ演習 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ
専	助教	山本 和恵 <平成29年4月>	専	助教	山本 和恵 <平成29年4月>	専	助教	山本 和恵 <平成29年4月>	専	助教	山本 和恵 <平成29年4月>	専	助教	山本 和恵 <平成29年4月>
		スポーツ科学入門 スポーツ栄養学 健康運動特論Ⅰ 健康運動特論Ⅱ			スポーツ科学入門 スポーツ栄養学 健康運動特論Ⅰ 健康運動特論Ⅱ			スポーツ科学入門 スポーツ栄養学 健康運動特論Ⅰ 健康運動特論Ⅱ			スポーツ科学入門 スポーツ栄養学 健康運動特論Ⅰ 健康運動特論Ⅱ			スポーツ科学入門 スポーツ栄養学 健康運動特論Ⅰ 健康運動特論Ⅱ
専	助教	山本 真史 <平成29年4月>	専	助教	山本 真史 <平成29年4月>	専	助教	山本 真史 <平成29年4月>	専	助教	山本 真史 <平成29年4月>	専	助教	山本 真史 <平成29年4月>
		スポーツ科学入門 認知心理学 スポーツと脳 メンタルトレーニング スポーツ科学演習 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ			スポーツ科学入門 認知心理学 スポーツと脳 メンタルトレーニング スポーツ科学演習 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ			スポーツ科学入門 認知心理学 スポーツと脳 メンタルトレーニング スポーツ科学演習 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ			スポーツ科学入門 認知心理学 スポーツと脳 メンタルトレーニング スポーツ科学演習 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ			スポーツ科学入門 認知心理学 スポーツと脳 メンタルトレーニング スポーツ科学演習 導入ゼミ スポーツフィールドワークⅠ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ
兼任	教授	小泉 純一 <平成29年4月>	兼任	教授	小泉 純一 <平成29年4月>	兼任	教授	小泉 純一 <平成29年4月>	兼任	教授	小泉 純一 <平成29年4月>	兼任	教授	小泉 純一 <平成29年4月>
		こころからだ 日本福祉大学の歴史 スポーツイングリッシュⅠ スポーツイングリッシュⅡ			こころからだ 日本福祉大学の歴史 スポーツイングリッシュⅠ スポーツイングリッシュⅡ			こころからだ 日本福祉大学の歴史 スポーツイングリッシュⅠ スポーツイングリッシュⅡ			こころからだ 日本福祉大学の歴史 スポーツイングリッシュⅠ スポーツイングリッシュⅡ			こころからだ 日本福祉大学の歴史 スポーツイングリッシュⅠ スポーツイングリッシュⅡ
兼任	教授	柏倉 秀克 <平成29年4月>	兼任	教授	柏倉 秀克 <平成29年4月>	兼任	教授	柏倉 秀克 <平成29年4月>	兼任	講師	福本 剛介 <平成29年4月>	兼任	講師	福本 剛介 <平成29年4月>
		視覚障害者支援論 視覚・聴覚・病弱児論			視覚障害者支援論 視覚・聴覚・病弱児論 聴覚障害者の理解と支援			視覚障害者支援論 視覚・聴覚・病弱児論 聴覚障害者の理解と支援			福本 剛介 スポーツイングリッシュⅠ スポーツイングリッシュⅡ			福本 剛介 スポーツイングリッシュⅠ スポーツイングリッシュⅡ
兼任	教授	村上 徹也 <平成29年4月>	兼任	教授	村上 徹也 <平成29年4月>	兼任	教授	村上 徹也 <平成29年4月>	兼任	教授	村上 徹也 <平成29年4月>	兼任	講師	星野 史光 <平成29年4月>
		ふくしとフィールドワーク ふくしと減災コミュニティ			ふくしとフィールドワーク ふくしと減災コミュニティ コミュニケーション力演習			ふくしとフィールドワーク ふくしと減災コミュニティ			村上 徹也 <平成29年4月>			視覚障害者支援論
兼任	教授	中村 信次 <平成29年4月>	兼任	教授	中村 信次 <平成29年4月>	兼任	教授	中村 信次 <平成29年4月>	兼任	教授	中村 信次 <平成29年4月>	兼任	教授	中村 信次 <平成29年4月>
		福祉社会入門 福祉の力 統計学			福祉社会入門 福祉の力			福祉社会入門 福祉の力			福祉社会入門 福祉の力 海外英語研修			福祉社会入門 福祉の力 海外英語研修

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		堀本 恵信 <平成29年4月>
兼任	教授	千頭 聡 <平成29年4月>
		知多学
兼任	教授	張 淑梅 <平成29年4月>
		経営学
		伊藤 慎 <平成29年4月>
		スポーツ実技 スポーツ統計学
		福富 優 <平成29年4月>
		スポーツ実技
		笹川 修 <平成29年4月>
		スポーツ統計学
兼任	教授	片山 善博 <平成29年4月>
		哲学
兼任	助教	矢崎(中島) 裕美子 <平成29年4月>
		キャリア開発Ⅰ キャリア開発Ⅱ コミュニケーション力演習
		大場 和久 <平成29年9月>
		地震と防災社会
兼任	教授	小倉 美津夫 <平成29年9月>
		海外フィールドワーク
		高村 秀史 <平成29年4月>
		スポーツ実技 文章作成力演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		堀本 恵信 <平成29年4月>
兼任	講師	千頭 聡 <平成29年4月>
		経営学
兼任	教授	千頭 聡 <平成29年4月>
		知多学
		堀本 恵信 <平成29年4月>
		経営学
		福富 優 <平成29年4月>
		スポーツ実技
		笹川 修 <平成29年4月>
		スポーツ統計学
兼任	教授	片山 善博 <平成29年4月>
		哲学
兼任	助教	矢崎(中島) 裕美子 <平成29年4月>
		キャリア開発Ⅰ キャリア開発Ⅱ コミュニケーション力演習
		大場 和久 <平成29年9月>
		地震と防災社会
		SOBUE Kirstin (Kirstle) Charlotte <平成29年4月>
		海外フィールドワーク
		佐藤 慎一 <平成30年4月>
		海外フィールドワーク
兼任	助教	高村 秀史 <平成29年4月>
		スポーツ実技 文章作成力演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		堀本 恵信 <平成29年4月>
兼任	講師	千頭 聡 <平成29年4月>
		経営学
兼任	教授	千頭 聡 <平成29年4月>
		知多学
		堀本 恵信 <平成29年4月>
		経営学
		福富 優 <平成29年4月>
		スポーツ実技
		笹川 修 <平成29年4月>
		スポーツ統計学
兼任	教授	片山 善博 <平成29年4月>
		哲学
兼任	助教	矢崎(中島) 裕美子 <平成29年4月>
		キャリア開発Ⅰ
		大場 和久 <平成29年9月>
		地震と防災社会
		佐藤 慎一 <平成30年4月>
		海外フィールドワーク
兼任	助教	高村 秀史 <平成29年4月>
		スポーツ実技
		宮園 啓介 <平成30年4月>
		文章作成力演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		堀本 恵信 <平成29年4月>
兼任	講師	千頭 聡 <平成29年4月>
		経営学
兼任	教授	千頭 聡 <平成29年4月>
		知多学
		堀本 恵信 <平成29年4月>
		経営学
		星野 宏 <平成31年4月>
		キャリア開発Ⅰ
		吉田 智美 <平成30年4月>
		キャリア開発Ⅱ
		村川 弘城 <平成30年4月>
		コミュニケーション力演習 文章作成力演習
兼任	教授	大場 和久 <平成29年9月>
		地震と防災社会
		佐藤 慎一 <平成30年4月>
		海外フィールドワーク
兼任	助教	高村 秀史 <平成29年4月>
		スポーツ実技
		宮園 啓介 <平成30年4月>
		文章作成力演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		堀本 恵信 <平成29年4月>
兼任	講師	千頭 聡 <平成29年4月>
		経営学
兼任	教授	千頭 聡 <平成29年4月>
		知多学
		足立 浩 <令和2年4月>
		経営学
		笹川 修 <平成29年4月>
		スポーツ統計学 スポーツ実技
兼任	教授	片山 善博 <平成29年4月>
		哲学
		星野 宏 <平成31年4月>
		キャリア開発Ⅰ
		吉田 智美 <平成30年4月>
		キャリア開発Ⅱ
		村川 弘城 <平成30年4月>
		コミュニケーション力演習 文章作成力演習 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	大場 和久 <平成29年9月>
		地震と防災社会
		佐藤 慎一 <平成30年4月>
		海外フィールドワーク
兼任	助教	高村 秀史 <平成29年4月>
		スポーツ実技
		宇野 朗宏 <令和2年4月>
		文章作成力演習
		石田 知美 <令和2年4月>
		文章作成力演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
		川田 稔	
兼任	教授	<平成30年4月>	政治学
兼任	教授	谷地 宣亮 <平成30年9月>	経済学
兼任	助教	佐藤 大介 <平成30年9月>	
兼任	教授	知多半島のふくし 西村 一彦 <平成31年4月>	生命と環境
兼任	教授	原田 正樹 <平成31年9月>	ふくしフィールドワーク実習
兼任	教授	山本 秀人 <平成29年4月>	専任実務員(運動指導員・指導員)・こころの発達
兼任	准教授	伊藤 修毅 <平成30年9月>	知的障害児教育論 特別支援教育課程論
兼任	教授	小林 寛和 <平成31年9月>	知的障害児教育論 特別支援教育課程論
兼任	教授	堀 吉郎 <平成30年4月>	アスレティックリハビリテーション 専門実技(器械運動) 保健体育科教育法Ⅱ-A(陸上・器械運動)
兼任	准教授	荒深 裕規 <平成32年4月>	アスレティックリハビリテーション 専門実技(器械運動) 保健体育科教育法Ⅱ-A(陸上・器械運動)
兼任	助教	高須 和博 <平成29年4月>	教職入門B
兼任	准教授	橋本 洋治 <平成30年4月>	教育制度論B
兼任	准教授	小平 英志 <平成30年4月>	教育と発達心理学B
兼任	准教授	今井(山口) 理恵 <平成30年4月>	教育課程論B 教育方法論B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
		川田 稔	
兼任	教授	<平成30年4月>	政治学
兼任	教授	谷地 宣亮 <平成30年9月>	経済学
兼任	助教	佐藤 大介 <平成30年9月>	
兼任	教授	知多半島のふくし 西村 一彦 <平成31年4月>	生命と環境
兼任	教授	原田 正樹 <平成31年9月>	ふくしフィールドワーク実習
兼任	教授	山本 秀人 <平成29年4月>	専任実務員(運動指導員・指導員)・こころの発達
兼任	准教授	伊藤 修毅 <平成30年9月>	知的障害児教育論 特別支援教育課程論
兼任	教授	小林 寛和 <平成31年9月>	知的障害児教育論 特別支援教育課程論
兼任	教授	堀 吉郎 <平成30年4月>	アスレティックリハビリテーション 専門実技(器械運動) 保健体育科教育法Ⅱ-A(陸上・器械運動)
兼任	准教授	荒深 裕規 <平成31年4月>	アスレティックリハビリテーション 専門実技(器械運動) 保健体育科教育法Ⅱ-A(陸上・器械運動)
兼任	助教	高須 和博 <平成29年4月>	教職入門B
兼任	准教授	橋本 洋治 <平成30年4月>	教育制度論B
兼任	講師	武者 一弘 <平成30年4月>	教育制度論B
兼任	准教授	小平 英志 <平成30年4月>	教育と発達心理学B
兼任	准教授	今井(山口) 理恵 <平成30年4月>	教育課程論B 教育方法論B
兼任	講師	栗田 康正 <平成30年4月>	道徳教育の指導法B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
		川田 稔	
兼任	教授	<平成30年4月>	政治学
兼任	講師	竹内 啓仁 <平成30年4月>	経済学
兼任	助教	佐藤 大介 <平成30年9月>	
兼任	教授	知多半島のふくし 西村 一彦 <平成31年4月>	生命と環境
兼任	教授	原田 正樹 <平成31年9月>	ふくしフィールドワーク実習
兼任	教授	山本 秀人 <平成29年4月>	専任実務員(運動指導員・指導員)・こころの発達
兼任	准教授	伊藤 修毅 <平成30年9月>	知的障害児教育論 特別支援教育課程論
兼任	教授	小林 寛和 <平成31年9月>	知的障害児教育論 特別支援教育課程論
兼任	教授	堀 吉郎 <平成30年4月>	アスレティックリハビリテーション 専門実技(器械運動) 保健体育科教育法Ⅱ-A(陸上・器械運動)
兼任	准教授	荒深 裕規 <平成31年4月>	アスレティックリハビリテーション 専門実技(器械運動) 保健体育科教育法Ⅱ-A(陸上・器械運動)
兼任	助教	高須 和博 <平成29年4月>	教職入門B
兼任	准教授	橋本 洋治 <平成30年4月>	教育制度論B 教育原論B
兼任	教授	渡邊 忍 <平成30年4月>	教育と発達心理学B
兼任	准教授	今井(山口) 理恵 <平成30年4月>	教育課程論B 教育方法論B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	川田 稔 <平成30年4月>	政治学
兼任	講師	竹内 啓仁 <平成30年4月>	経済学
兼任	助教	佐藤 大介 <平成30年9月>	
兼任	講師	水野 暁子 <平成31年4月>	生命と環境
兼任	教授	加茂 浩晴 <平成31年4月>	ふくしフィールドワーク実習
兼任	教授	藤井 博之 <平成31年4月>	ふくしフィールドワーク実習
兼任	教授	山本 秀人 <平成29年4月>	専任実務員(運動指導員・指導員)・こころの発達
兼任	准教授	伊藤 修毅 <平成30年9月>	知的障害児教育論 特別支援教育課程論
兼任	教授	小林 寛和 <平成31年9月>	知的障害児教育論 特別支援教育課程論
兼任	講師	堀 吉郎 <平成30年4月>	アスレティックリハビリテーション 専門実技(器械運動) 保健体育科教育法Ⅱ-A(陸上・器械運動)
兼任	准教授	荒深 裕規 <平成31年4月>	アスレティックリハビリテーション 専門実技(器械運動) 保健体育科教育法Ⅱ-A(陸上・器械運動)
兼任	講師	山口 正 <平成31年4月>	教職入門(中級)
兼任	准教授	橋本 洋治 <平成30年4月>	教育制度論B 教育原論B
兼任	教授	渡邊 忍 <平成30年4月>	教育と発達心理学B
兼任	准教授	今井(山口) 理恵 <平成30年4月>	教育課程論B 教育方法論B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	川田 稔 <平成30年4月>	政治学
兼任	講師	竹内 啓仁 <平成30年4月>	経済学
兼任	助教	佐藤 大介 <平成30年9月>	
兼任	講師	水野 暁子 <平成31年4月>	生命と環境
兼任	教授	加茂 浩晴 <平成31年4月>	ふくしフィールドワーク実習
兼任	教授	藤井 博之 <平成31年4月>	ふくしフィールドワーク実習
兼任	教授	山本 秀人 <平成29年4月>	専任実務員(運動指導員・指導員)・こころの発達
兼任	准教授	伊藤 修毅 <平成30年9月>	知的障害児教育論 特別支援教育課程論
兼任	教授	小林 寛和 <平成31年9月>	知的障害児教育論 特別支援教育課程論
兼任	講師	堀 吉郎 <平成30年4月>	アスレティックリハビリテーション 専門実技(器械運動) 保健体育科教育法Ⅱ-A(陸上・器械運動)
兼任	准教授	荒深 裕規 <平成31年4月>	アスレティックリハビリテーション 専門実技(器械運動) 保健体育科教育法Ⅱ-A(陸上・器械運動)
兼任	講師	山口 正 <平成31年4月>	教職入門(中級)
兼任	准教授	橋本 洋治 <平成30年4月>	教育制度論B 教育原論B
兼任	教授	渡邊 忍 <平成30年4月>	教育と発達心理学B
兼任	准教授	今井(山口) 理恵 <平成30年4月>	教育課程論B 教育方法論B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		田中 紀子 <平成30年9月> 教育方法論B
兼任	准教授	早川 すみ江 <平成30年4月> 教育相談の基礎と方法B 藤井 啓之
兼任	教授	<平成30年9月> 道徳教育の指導法B 生徒・進路指導論B
兼任	准教授	堀 美和子 <平成31年9月> 発達障害児論
兼任	教授	山本 敏郎 <平成31年9月> 特別活動方法論B
		新井 俊明 <平成31年9月> 特別活動方法論B
兼任	教授	上田 和宏 <平成29年9月> ビジネススキル インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	講師	武田 太一 <平成29年4月> ろう文化と手話
兼任	講師	藤井 克美 <平成29年4月> 聴覚障害者の理解と支援 視覚・聴覚・病弱児論
兼任	講師	大竹 秀樹 <平成29年4月> 法入門
兼任	講師	辻村 大生 <平成29年4月> 社会学 武川 眞箇 <平成29年9月> 日本国憲法
兼任	講師	岡田 佐由里 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅠ-2 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		田中 紀子 <平成30年9月> 教育方法論B
兼任	准教授	早川 すみ江 <平成30年4月> 教育相談の基礎と方法B 藤井 啓之
兼任	教授	<平成30年9月> 道徳教育の指導法B 生徒・進路指導論B
兼任	准教授	堀 美和子 <平成31年9月> 発達障害児論
兼任	教授	山本 敏郎 <平成31年9月> 特別活動方法論B
		新井 俊明 <平成31年9月> 特別活動方法論B
兼任	教授	曲田 浩和 <平成29年4月> ビジネススキル インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	講師	武田 太一 <平成29年4月> ろう文化と手話
兼任	講師	藤井 克美 <平成29年4月> 聴覚障害者の理解と支援 視覚・聴覚・病弱児論
兼任	講師	近藤 充代 <平成29年4月> 法入門 辻村 大生 <平成29年4月> 社会学 武川 眞箇 <平成29年9月> 日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		田中 紀子 <平成30年9月> 教育方法論B
兼任	准教授	早川 すみ江 <平成30年4月> 教育相談の基礎と方法B 藤井 啓之
兼任	教授	<平成30年9月> 道徳教育の指導法B 生徒・進路指導論B
兼任	准教授	堀 美和子 <平成31年9月> 発達障害児論
兼任	教授	山本 敏郎 <平成31年9月> 特別活動方法論B
		新井 俊明 <平成31年9月> 特別活動方法論B
兼任	教授	曲田 浩和 <平成29年4月> ビジネススキル インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	講師	武田 太一 <平成29年4月> ろう文化と手話
兼任	講師	藤井 克美 <平成29年4月> 聴覚障害者の理解と支援 視覚・聴覚・病弱児論
兼任	講師	井上 ひとみ <平成30年4月> 視覚・聴覚・病弱児論
兼任	教授	近藤 充代 <平成29年4月> 法入門 辻村 大生 <平成29年4月> 社会学 武川 眞箇 <平成29年9月> 日本国憲法
兼任	教授	三宅 裕一郎 <平成30年4月> 日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		田中 紀子 <平成30年9月> 教育方法論B
兼任	准教授	早川 すみ江 <平成30年4月> 教育相談の基礎と方法B 藤井 啓之
兼任	教授	<平成30年9月> 道徳教育の指導法B 生徒・進路指導論B 教育課程組論B
兼任	准教授	堀 美和子 <平成31年9月> 発達障害児論
		新井 俊明 <平成31年9月> 特別活動方法論B
兼任	教授	鈴木 庸裕 <平成31年4月> 特別活動方法論B 生徒・進路指導論B
兼任	准教授	鈴木 健司 <平成31年4月> ビジネススキル インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	講師	新野 康子 <平成30年4月> ろう文化と手話
兼任	講師	井上 ひとみ <平成30年4月> 視覚・聴覚・病弱児論
兼任	教授	近藤 充代 <平成29年4月> 法入門 辻村 大生 <平成29年4月> 社会学 武川 眞箇 <平成29年9月> 日本国憲法
兼任	講師	清田 雄治 <平成31年4月> 日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		田中 紀子 <平成30年9月> 教育方法論B
兼任	准教授	早川 すみ江 <平成30年4月> 教育相談の基礎と方法B 藤井 啓之
兼任	教授	<平成30年9月> 道徳教育の指導法B 生徒・進路指導論B 教育課程組論B
兼任	准教授	堀 美和子 <平成31年9月> 発達障害児論
		新井 俊明 <平成31年9月> 特別活動方法論B
兼任	教授	鈴木 庸裕 <平成31年4月> 特別活動方法論B 生徒・進路指導論B
兼任	准教授	鈴木 健司 <平成31年4月> ビジネススキル インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	講師	新野 康子 <平成30年4月> ろう文化と手話
兼任	講師	井上 ひとみ <平成30年4月> 視覚・聴覚・病弱児論
兼任	教授	近藤 充代 <平成29年4月> 法入門 辻村 大生 <平成29年4月> 社会学 武川 眞箇 <平成29年9月> 日本国憲法
兼任	講師	清田 雄治 <平成31年4月> 日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		
		久米 祐介 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	加藤 とも子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅠ-2 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-2	
兼任	講師	足立 静子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	鈴木 あつ子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	竹多 亮子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	野々山 富士江 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	小中野 啓子 <平成29年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	
兼任	講師	武内 瑞穂 <平成29年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	
兼任	講師	福岡 恵理子 <平成29年4月> 情報処理演習Ⅰ	
兼任	講師	村上 清美 <平成29年4月> 情報処理演習Ⅰ	
兼任	講師	福田 真帆 <平成29年4月> スポーツ実技 スポーツコミュニケーション スポーツ政策・行政論 専門実技(柔道) 保健体育科教育法Ⅱ-C(武道)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		
兼任	講師	久米 祐介 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	中川 聡 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	中村 一子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	馬場 景子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	塚本 恵信 <平成29年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	
兼任	講師	塚本 明美 <平成29年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	
兼任	講師	福田 真帆 <平成29年4月> スポーツ実技 スポーツコミュニケーション スポーツ政策・行政論 専門実技(柔道) 保健体育科教育法Ⅱ-C(武道)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		
兼任	講師	大木 竜之介 <平成30年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	山守 千穂 <平成30年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	中村 一子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	馬場 景子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	竹多 亮子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-2 フレッシュマンイングリッシュⅡ-2	
兼任	助教	倉掛 崇 <平成29年4月> 情報処理演習Ⅰ	
兼任	講師	塚本 恵信 <平成29年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	
兼任	助教	福田 真帆 <平成29年4月> スポーツ実技 スポーツコミュニケーション スポーツ政策・行政論 専門実技(柔道) 保健体育科教育法Ⅱ-C(武道)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		
兼任	講師	大木 竜之介 <平成30年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	山守 千穂 <平成30年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	中村 一子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	馬場 景子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	竹多 亮子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-2 フレッシュマンイングリッシュⅡ-2	
兼任	助教	倉掛 崇 <平成29年4月> 情報処理演習Ⅰ	
兼任	講師	塚本 恵信 <平成29年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	
兼任	助教	福田 真帆 <平成29年4月> スポーツ実技 スポーツ政策・行政論 専門実技(柔道) 保健体育科教育法Ⅱ-C(武道) ふくしフィールドワーク実働	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		
兼任	講師	佐藤 翔馬 <令和2年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	山守 千穂 <平成30年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	中村 一子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	馬場 景子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	
兼任	講師	竹多 亮子 <平成29年4月> フレッシュマンイングリッシュⅠ-2 フレッシュマンイングリッシュⅡ-2	
兼任	助教	倉掛 崇 <平成29年4月> 情報処理演習Ⅰ	
兼任	講師	塚本 恵信 <平成29年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	
兼任	助教	福田 真帆 <平成29年4月> スポーツ実技 スポーツ政策・行政論 専門実技(柔道) 保健体育科教育法Ⅱ-C(武道) ふくしフィールドワーク実働	



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉川 一義 <平成30年9月> 肢体不自由児の生理と病理 知的障害児の生理と病理
兼任	講師	石堂 典秀 <平成31年9月> スポーツ法学
兼任	講師	中原 貴典 <平成30年4月> 専門実技(ハレーボール) スポーツ指導法演習(ハレーボール)
兼任	講師	制野 俊弘 <平成30年9月> 専門実技(サッカー) スポーツ指導法演習(サッカー)
兼任	講師	鈴木 康博 <平成31年4月> 専門実技(ソフトボール)
兼任	講師	小島 長敏 <平成31年4月> 専門実技(卓球) スポーツ指導法演習(卓球)
兼任	講師	伊藤 雅介 <平成32年4月> スポーツ指導法演習(エアロビクス)
兼任	講師	石川 公子 <平成29年4月> 日本語と文化Ⅰ-1 日本語と文化Ⅰ-2 日本語と文化Ⅲ-1 日本語と文化Ⅲ-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	富島 茂登 <平成31年4月> 肢体不自由児の心理
兼任	講師	吉川 一義 <平成30年9月> 肢体不自由児の生理と病理 知的障害児の心理
兼任	講師	榎本 良子 <平成29年4月> 肢体不自由児の生理と病理 知的障害児の生理と病理
兼任	講師	石堂 典秀 <平成31年9月> スポーツ法学
兼任	講師	中原 貴典 <平成30年4月> 専門実技(ハレーボール) スポーツ指導法演習(ハレーボール)
兼任	講師	制野 俊弘 <平成30年9月> 専門実技(サッカー) スポーツ指導法演習(サッカー)
兼任	講師	鈴木 康博 <平成31年4月> 専門実技(ソフトボール)
兼任	講師	小島 長敏 <平成31年4月> 専門実技(卓球) スポーツ指導法演習(卓球)
兼任	講師	伊藤 雅介 <平成32年4月> スポーツ指導法演習(エアロビクス)
兼任	講師	石川 公子 <平成29年4月> 日本語と文化Ⅰ-1 日本語と文化Ⅰ-2 日本語と文化Ⅲ-1 日本語と文化Ⅲ-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	富島 茂登 <平成31年4月> 肢体不自由児の心理
兼任	講師	榎本 良子 <平成29年4月> 肢体不自由児の生理と病理 知的障害児の生理と病理
兼任	教授	鷺見 聡 <平成30年4月> 知的障害児の生理と病理
兼任	講師	平林 ルミ <平成30年4月> 知的障害児の心理
兼任	講師	石堂 典秀 <平成31年9月> スポーツ法学
兼任	講師	中原 貴典 <平成30年4月> 専門実技(ハレーボール) スポーツ指導法演習(ハレーボール)
兼任	講師	制野 俊弘 <平成30年9月> 専門実技(サッカー) スポーツ指導法演習(サッカー)
兼任	講師	伊藤 雅典 専門実技(サッカー)
兼任	講師	鈴木 康博 <平成31年4月> 専門実技(ソフトボール)
兼任	講師	小島 長敏 <平成31年4月> 専門実技(卓球) スポーツ指導法演習(卓球)
兼任	講師	伊藤 雅介 <平成32年4月> スポーツ指導法演習(エアロビクス)
兼任	講師	石川 公子 <平成29年4月> 日本語と文化Ⅰ-1 日本語と文化Ⅰ-2 日本語と文化Ⅲ-1 日本語と文化Ⅲ-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	富島 茂登 <平成31年4月> 肢体不自由児の心理
兼任	教授	鷺見 聡 <平成30年4月> 肢体不自由児の生理と病理 知的障害児の生理と病理
兼任	講師	平林 ルミ <平成30年4月> 知的障害児の心理
兼任	講師	石堂 典秀 <平成31年9月> スポーツ法学
兼任	講師	神田 翔太 <平成31年4月> スポーツ指導法演習(ハレーボール)
兼任	講師	金子 美由紀 <平成30年4月> 専門実技(ハレーボール)
兼任	講師	水谷 未来 <平成31年4月> 専門実技(サッカー)
兼任	講師	今井 厚 <平成31年4月> 専門実技(サッカー) スポーツ指導法演習(サッカー)
兼任	講師	松岡 弘記 <平成31年4月> 専門実技(ソフトボール)
兼任	講師	岩月 俊二 <平成31年4月> 専門実技(テニス) スポーツ指導法演習(テニス)
兼任	講師	石原 弘憲 <平成31年4月> スポーツ指導法演習(ダンス)
兼任	講師	小島 長敏 <平成31年4月> 専門実技(卓球) スポーツ指導法演習(卓球)
兼任	講師	田中 光代 <平成31年4月> スポーツ指導法演習(エアロビクス)
兼任	講師	石川 公子 <平成29年4月> 日本語と文化Ⅰ-1 日本語と文化Ⅰ-2 日本語と文化Ⅲ-1 日本語と文化Ⅲ-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石堂 典秀 <平成31年9月> スポーツ法学
兼任	講師	神田 翔太 <平成31年4月> スポーツ指導法演習(ハレーボール)
兼任	講師	金子 美由紀 <平成30年4月> 専門実技(ハレーボール)
兼任	講師	水谷 未来 <平成31年4月> 専門実技(サッカー)
兼任	講師	中島 優登 <令和2年4月> 専門実技(サッカー) スポーツ指導法演習(サッカー)
兼任	講師	松岡 弘記 <平成31年4月> 専門実技(ソフトボール)
兼任	講師	岩月 俊二 <平成31年4月> 専門実技(テニス) スポーツ指導法演習(テニス)
兼任	講師	石原 弘憲 <平成31年4月> スポーツ指導法演習(ダンス)
兼任	講師	小島 長敏 <平成31年4月> 専門実技(卓球) スポーツ指導法演習(卓球)
兼任	講師	田中 光代 <平成31年4月> スポーツ指導法演習(エアロビクス)
兼任	講師	石川 公子 <平成29年4月> 日本語と文化Ⅰ-1 日本語と文化Ⅰ-2 日本語と文化Ⅲ-1 日本語と文化Ⅲ-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 水野 愛子
兼任	講師	日本語と文化Ⅱ-1 日本語と文化Ⅱ-2 日本語と文化Ⅳ-1 日本語と文化Ⅳ-2
兼任	講師	西出 弓枝 <平成30年4月>
		知的障害児の心理
兼任	講師	田中 實陽子 <平成30年4月>
		視覚・聴覚・弱視児童
兼任	講師	野平 慎二 <平成30年4月>
		教育原理B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 水野 愛子
兼任	講師	日本語と文化Ⅱ-1 日本語と文化Ⅱ-2 日本語と文化Ⅳ-1 日本語と文化Ⅳ-2
兼任	講師	西出 弓枝 <平成30年4月>
		知的障害児の心理
兼任	講師	田中 實陽子 <平成30年4月>
		視覚・聴覚・弱視児童
兼任	講師	野平 慎二 <平成30年4月>
		教育原理B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 水野 愛子
兼任	講師	日本語と文化Ⅱ-1 日本語と文化Ⅱ-2 日本語と文化Ⅳ-1 日本語と文化Ⅳ-2
兼任	講師	西出 弓枝 <平成30年4月>
		知的障害児の心理
兼任	講師	田中 實陽子 <平成30年4月>
		視覚・聴覚・弱視児童
兼任	講師	麻生 伸三郎 <平成30年4月>
		視覚・聴覚・弱視児童
兼任	講師	野平 慎二 <平成30年4月>
		教育原理B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 水野 愛子
兼任	講師	日本語と文化Ⅱ-1 日本語と文化Ⅱ-2 日本語と文化Ⅳ-1 日本語と文化Ⅳ-2
兼任	講師	西出 弓枝 <平成30年4月>
		知的障害児の心理
兼任	講師	田中 實陽子 <平成30年4月>
		視覚・聴覚・弱視児童
兼任	講師	麻生 伸三郎 <平成30年4月>
		視覚・聴覚・弱視児童
兼任	講師	野平 慎二 <平成30年4月>
		教育原理B
兼任	講師	東 千夏 <平成31年4月>
		視覚・聴覚・弱視児童

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 水野 愛子
兼任	講師	日本語と文化Ⅱ-1 日本語と文化Ⅱ-2 日本語と文化Ⅳ-1 日本語と文化Ⅳ-2
兼任	講師	西出 弓枝 <平成30年4月>
		知的障害児の心理
兼任	講師	田中 實陽子 <平成30年4月>
		視覚・聴覚・弱視児童
兼任	講師	麻生 伸三郎 <平成30年4月>
		視覚・聴覚・弱視児童
兼任	講師	野平 慎二 <平成30年4月>
		教育原理B
兼任	講師	東 千夏 <平成31年4月>
		視覚・聴覚・弱視児童

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、**認可時又は届出時から重要となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「肢体不自由児の心理」の担当者として富島講師（兼任）を追加。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「特別支援教育論」の担当者として金森教授（専任）を追加。平成29年7月教員審査済み。
- ・現職都合により、高橋教授の就任が平成29年4月から平成30年4月に遅延。
- ・「機能解剖学」の担当者を、高橋教授（専任）から伊藤講師（兼任）に変更。
- ・「聴覚障害者の理解と支援」の科目追加に伴い、柏倉教授（兼任）を追加。
- ・「統計学」の担当者を、中村教授（兼任）から塚本講師（兼任）に変更。
- ・「経営学」の担当者を、張教授（兼任）から蔭講師（兼任）に変更。
- ・「スポーツ実技」の担当者を、伊藤助教（兼任）から福富講師（兼任）に変更。
- ・「スポーツ統計学」の担当者を、伊藤助教（兼任）から世川講師（兼任）に変更。
- ・「海外フィールドワーク」の担当者を、小倉教授（兼任）からSOBUE助教（兼任）に変更。
- ・「スポーツ指導法演習（レクリエーション・ニュースポーツ）」を「スポーツ指導法演習（レクリエーション・ニュースポーツⅠ）」に科目名称を変更。
- ・「レクリエーション理論」の科目追加に伴い、荒深准教授（兼任）を追加。
- ・「スポーツ指導法演習（レクリエーション・ニュースポーツⅡ）」の科目追加に伴い、荒深准教授（兼任）を追加。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「教育制度論B」の担当者として武者講師（兼任）を追加。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「教育課程論B」の担当者として柴田講師（兼任）を追加。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「道徳教育の指導法B」の担当者として柴田講師（兼任）を追加。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「教育方法論B」の担当者として田中講師（兼任）を追加。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「特別活動方法論B」の担当者として絹村講師（兼任）を追加。
- ・「ビジネススキル」の担当者を上田教授（兼任）から曲田教授（兼任）に変更。
- ・「インターンシップⅠ」の担当者を上田教授（兼任）から曲田教授（兼任）に変更。
- ・「インターンシップⅡ」の担当者を上田教授（兼任）から曲田教授（兼任）に変更。
- ・「法入門」の担当者を大竹講師（兼任）から近藤教授（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」の担当者を、岡田講師（兼任）から久米講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」の担当者を、岡田講師（兼任）から久米講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」の担当者を、加藤講師（兼任）から中川講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」の担当者を、加藤講師（兼任）から中川講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」の担当者を、足立講師（兼任）から中村講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」の担当者を、足立講師（兼任）から中村講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」の担当者を、鈴木講師（兼任）から馬場講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」の担当者を、鈴木講師（兼任）から馬場講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-2」の担当者から、岡田講師（兼任）を削除。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-2」の担当者から、岡田講師（兼任）を削除。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅠ-2」の担当者から、加藤講師（兼任）を削除。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-2」の担当者から、加藤講師（兼任）を削除。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」の担当者から、竹多講師（兼任）を削除。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」の担当者から、竹多講師（兼任）を削除。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」の担当者から、野々山講師（兼任）を削除。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」の担当者から、野々山講師（兼任）を削除。
- ・「情報処理演習Ⅰ」の担当者を小中野講師（兼任）から倉掛助教（兼任）に変更。
- ・「情報処理演習Ⅱ」の担当者を小中野講師（兼任）から塚本講師（兼任）に変更。
- ・「情報処理演習Ⅰ」の担当者を武内講師（兼任）から塚本講師（兼任）に変更。
- ・「情報処理演習Ⅱ」の担当者を武内講師（兼任）から塚本講師（兼任）に変更。
- ・稲田講師（兼任）から稲田助教（兼任）に変更。
- ・坂口講師（兼任）から坂口助教（兼任）に変更。
- ・中尾講師（兼任）から中尾助教（兼任）に変更。
- ・「スポーツ実技」の担当者として富野講師（兼任）を追加。
- ・「スポーツ実技」の担当者として成宮講師（兼任）を追加。
- ・「スポーツ実技」の担当者として成瀬講師（兼任）を追加。
- ・「スポーツ実技」の担当者として内田講師（兼任）を追加。
- ・「専門実技（陸上）」の担当者として内田講師（兼任）を追加。
- ・「スポーツ実技」の担当者として安田講師（兼任）を追加。
- ・教職課程認定申請の際の指摘により、「知的障害児の心理」の担当者として吉川講師（兼任）を追加。
- ・「肢体不自由児の生理と病理」の担当者を、吉川講師（兼任）から根来講師（兼任）に変更。
- ・「知的障害児の生理と病理」の担当者を、吉川講師（兼任）から根来講師（兼任）に変更。

【平成30年度】

- ・高橋教授（専任）の赴任により、「機能解剖学」の担当者を伊藤講師（兼任）から高橋教授（専任）に変更。平成27年8月教員審査済み。
- ・「スポーツ実技」の担当者として、安藤佳代子助教（専任）を追加。平成29年10月教員審査済み。
- ・「コミュニケーション演習」の担当者として村上教授（兼任）を追加。
- ・「スポーツ実技」の担当者から、福富講師（兼任）を削除。
- ・「コミュニケーション演習」の担当者として、村上教授（兼任）を追加。
- ・「キャリア開発Ⅱ」の担当者を、矢崎助教（兼任）から吉田講師（兼任）に変更。
- ・「コミュニケーション演習」の担当者を、矢崎助教（兼任）から村川助教（兼任）に変更。
- ・「文章作成力演習」の担当者として村川講師（兼任）を追加。
- ・「海外フィールドワーク」の担当者を、SOBUE助教（兼任）から佐藤教授（兼任）に変更。
- ・「文章作成力演習」の担当者を、高村助教（兼任）から宮園講師（兼任）に変更。
- ・「経済学」の担当者を、谷地教授（兼任）から竹内講師（兼任）に変更。
- ・「教育原理B」の担当者を、野平講師（兼任）から橋本准教授（兼任）に変更。
- ・「教育制度論B」の担当者から、武者講師（兼任）を削除。
- ・「教育と発達心理学B」の担当者を、小平准教授（兼任）から渡邊教授（兼任）に変更。
- ・「教育課程論B」、「道徳教育の指導法B」の担当者から、柴田講師（兼任）を削除。
- ・「教育方法論B」の担当者から、田中講師（兼任）を削除。
- ・「ろう文化と手話」の担当者を武田講師（兼任）から新野教授（兼任）に変更。
- ・「視覚・聴覚・病弱児論」の担当者を藤井講師（兼任）から井上講師（兼任）に変更。
- ・「日本国憲法」の担当者を武川講師（兼任）から三宅教授（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」の担当者を、久米講師（兼任）から大木講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」の担当者を、久米講師（兼任）から大木講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」の担当者を、中川講師（兼任）から山守講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」の担当者を、中川講師（兼任）から山守講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅠ-2」の担当者として、竹多講師（兼任）を追加。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-2」の担当者として、竹多講師（兼任）を追加。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」の担当者として、井上講師（兼任）を追加。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」の担当者として、井上講師（兼任）を追加。
- ・「専門実技（陸上）」の担当者として、渡辺講師（兼任）を追加。
- ・「スポーツ指導法演習（陸上）」の担当者を、藤田講師（兼任）から鈴木講師（兼任）に変更。
- ・「スポーツ実技」の担当者を、成宮講師（兼任）から宮澤講師（兼任）に変更。
- ・「知的障害児の生理と病理」の担当者を根来講師（兼任）から鷲見教授（兼任）に変更。
- ・「知的障害児の心理」の担当者を、吉川講師（兼任）から平林講師（兼任）に変更。
- ・「専門実技（バレーボール）」の担当者を、中原講師（兼任）から金子講師（兼任）に変更。
- ・「専門実技（サッカー）」の担当者として、伊藤講師（兼任）を追加。
- ・「日本語と文化Ⅰ-1」の担当者として、SOBUE助教（兼任）を追加。
- ・「日本語と文化Ⅰ-2」の担当者として、SOBUE助教（兼任）を追加。
- ・「日本語と文化Ⅱ-1」の担当者として、SOBUE助教（兼任）を追加。
- ・「日本語と文化Ⅱ-2」の担当者として、SOBUE助教（兼任）を追加。
- ・「知的障害児の心理」の担当者から、西出講師（兼任）を削除。
- ・「視覚・聴覚・病弱児論」の担当者を、田中講師（兼任）から麻生講師（兼任）に変更。

【令和元年度】

- ・「障害者スポーツ指導法演習A」の担当者として、藤田紀昭教授（専任）を追加。平成30年11月教員審査済み。
- ・「障害者スポーツ指導法演習B」の担当者として、藤田紀昭教授（専任）を追加。平成30年11月教員審査済み。
- ・「スポーツイングリッシュⅠ」の担当者を、小泉教授（兼任）から福本講師（兼任）に変更。
- ・「スポーツイングリッシュⅡ」の担当者を、小泉教授（兼任）から福本講師（兼任）に変更。
- ・柏倉教授（兼任）から柏倉講師（兼任）に変更。
- ・「視覚障害者支援論」の担当者を、柏倉講師（兼任）から奈良講師（兼任）に変更。
- ・「コミュニケーション演習」の担当者から、村上教授（兼任）を削除。
- ・「海外英語研修」の担当者として、中村教授（兼任）を追加。
- ・「経営学」の担当者を、蔭講師（兼任）から船津講師（兼任）に変更。
- ・「キャリア開発Ⅰ」の担当者を、矢崎助教（兼任）から星野講師（兼任）に変更。
- ・川田教授（兼任）から川田講師（兼任）に変更。
- ・「生命と環境」の担当者を、西村教授（兼任）から水野講師（兼任）に変更。
- ・「ふくしフィールドワーク実践」の担当者を、原田教授（兼任）から加茂教授（兼任）に変更。
- ・「ふくしフィールドワーク実践」の担当者として、藤井教授（兼任）を追加。
- ・堤教授（兼任）から堤講師（兼任）に変更。
- ・「教職入門Ⅱ」（2019年度より「教職入門（中高）」に科目名称変更）の担当者を、高須助教（兼任）から山口講師（兼任）に変更。
- ・「教育課程論Ⅱ」の担当者を、今井准教授（兼任）から藤井教授（兼任）に変更。
- ・「特別活動方法論Ⅱ」の担当者を、山本教授（兼任）から鈴木教授（兼任）に変更。
- ・「生徒・進路指導論Ⅱ」の担当者を、藤井教授（兼任）から鈴木教授（兼任）に変更。
- ・「ビジネススキル」の担当者を、曲田教授（兼任）から鈴木准教授（兼任）に変更。
- ・「インターンシップⅠ」の担当者を、曲田教授（兼任）から鈴木准教授（兼任）に変更。
- ・「インターンシップⅡ」の担当者を、曲田教授（兼任）から鈴木准教授（兼任）に変更。
- ・「日本国憲法」の担当者を、三宅教授（兼任）から清田講師（兼任）に変更。
- ・「情報処理演習Ⅰ」の担当者を、倉掛助教（兼任）から塚本講師（兼任）に変更。
- ・「ふくしフィールドワーク実践」の担当者として、植田助教（兼任）を追加。
- ・「スポーツコミュニケーション」の担当者を、植田助教（兼任）から中山講師（兼任）に変更。
- ・「コンディショニング演習」の担当者として、徳武講師（兼任）を追加。
- ・「スポーツ実技」の担当者を、宮澤講師（兼任）から小林講師（兼任）に変更。
- ・「スポーツ科学演習」の担当者を、佐藤講師（兼任）から安田講師（兼任）に変更。
- ・「武道論」の担当者を、小田講師（兼任）から榎本講師（兼任）に変更。
- ・「専門実技（剣道）」の担当者を、小田講師（兼任）から白石講師（兼任）に変更。
- ・「保健体育科教育法Ⅱ-C（武道）」の担当者を、小田講師（兼任）から木下講師（兼任）に変更。
- ・「測定・評価」の担当者として、馬淵講師（兼任）を追加。
- ・「肢体障害児の生理と病理」の担当者を、根来講師（兼任）から鷺見教授（兼任）に変更。
- ・「スポーツ指導法演習（バレーボール）」の担当者を、中原講師（兼任）から神田講師（兼任）に変更。
- ・「専門実技（サッカー）」の担当者を、伊藤講師（兼任）から水谷講師（兼任）に変更。
- ・「専門実技（サッカー）」の担当者として、今井講師（兼任）を追加。
- ・「スポーツ指導法演習（サッカー）」の担当者として、今井講師（兼任）を追加。
- ・「専門実技（ソフトボール）」の担当者を、鈴木講師（兼任）から松岡講師（兼任）に変更。
- ・「専門実技（テニス）」の担当者として、岩月講師（兼任）を追加。
- ・「スポーツ指導法演習（テニス）」の担当者として、岩月講師（兼任）を追加。
- ・「スポーツ指導法演習（ダンス）」の担当者として、石原講師（兼任）を追加。
- ・「スポーツ指導法演習（エアロビクス）」の担当者を、伊藤講師（兼任）から田中講師（兼任）に変更。
- ・「健康運動特論Ⅲ」の担当者として、東講師（兼任）を追加。

【令和2年度】

- ・専任教員の吉田教授が博士（人類学）の学位を取得。
- ・専任教員の山根准教授が博士（体育学）の学位を取得。
- ・専任教員の職位変更により三井利仁の格付が准教授から教授に変更。令和元年12月教員審査済み。
- ・専任教員の職位変更により山本真史の格付が助教から准教授に変更。令和元年12月教員審査済み。
- ・専任教員の千葉助教が辞任したことに伴い、「専門演習Ⅱ」の担当者を千葉助教から千葉講師（兼任）に変更。
- ・専任教員として住田准教授が就任したことに伴い、「スポーツ科学入門」「スポーツマネジメント」「地域スポーツ論」「スポーツ科学演習」「ふくしスポーツ演習」「導入ゼミ」「スポーツフィールドワークⅠ」の担当教員を千葉助教から住田准教授に変更。令和2年2月教員審査済み。
- ・「聴覚障害者の理解と支援」の担当者を、柏倉講師（兼任）から佐藤大介助教（兼任）に変更。
- ・「視覚障害者支援論」の担当者を、奈良講師（兼任）から星野講師（兼任）に変更。
- ・「ふくしとフィールドワーク」の担当者を、村上教授（兼任）から佐藤大介助教（兼任）に変更。
- ・「ふくしと減災コミュニティ」の担当者を、村上教授（兼任）から佐藤大介助教（兼任）に変更。
- ・「経営学」の担当者を、船津講師（兼任）から足立講師（兼任）に変更。
- ・「情報処理演習Ⅰ」の担当者として、村川講師（兼任）を追加。
- ・「情報処理演習Ⅱ」の担当者として、村川講師（兼任）を追加。
- ・「スポーツ実技」の担当者として、笹川講師（兼任）を追加。
- ・「文章作成力演習」の担当者として、宮國講師（兼任）から宇野講師（兼任）に変更。
- ・「文章作成力演習」の担当者として、石田講師（兼任）を追加。
- ・「文章作成力演習」の担当者として、佐藤大介助教（兼任）を追加。
- ・「ふくしフィールドワーク実践」の担当者を、加茂教授（兼任）から吉田直美教授（兼任）に変更。
- ・「ろう文化と手話」の担当者を、新野講師（兼任）から島田講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」の担当者を、大木講師（兼任）から佐藤翔馬講師（兼任）に変更。
- ・「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」の担当者を、大木講師（兼任）から佐藤翔馬講師（兼任）に変更。
- ・「コンディショニング演習」の担当者を、徳武講師（兼任）から松井講師（兼任）に変更。
- ・「武道論」の担当者を、榎本講師（兼任）から木下講師（兼任）に変更。
- ・「肢体不自由児の心理」の担当者から當島講師（兼任）を削除。
- ・「専門実技（サッカー）」の担当者を、今井講師（兼任）から中島講師（兼任）に変更。
- ・「スポーツ指導法演習（サッカー）」の担当者を、今井講師（兼任）から中島講師（兼任）に変更。

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
15	8
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
10	5	0	8	23	0	11	6	0	6	23	0
(8)	(4)	(0)	(8)	(20)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
11	6	0	6	23	0	11	6	0	6	23	0
[ 1 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	5	5
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{23} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{5}{23} = \boxed{21.73} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
	助教	千葉 洋平		必修	スポーツ科学入門	①	他大学への転出のため
				選択	スポーツマネジメント	①	
				選択	地域スポーツ論	①	
				必修	スポーツ科学演習	①	
				選択	ふくしスポーツ演習	①	
				必修	導入ゼミ	①	
				必修	スポーツフィールドワークⅠ	①	
				必修	専門演習Ⅰ	①	
				必修	専門演習Ⅱ	②	
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{23} = 4.34\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul>
---

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>就任辞退(未就任)の教員は、就任時期を変更し、平成30年4月に就任する予定であるため、平成30年4月以降の配当科目については影響しない。平成29年開講科目について、必修科目は本人が兼任として担当するため影響はない。選択科目については、平成29年度のみ兼任教員補充で対応する。学生へは、年度初めのオリエンテーションにて周知した。(29)</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時  (平成28年)	1. 「スポーツフィールドワークⅡ-1」及び「スポーツフィールドワークⅡ-2」のシラバスは担当教員及び履修時期を除き同一の内容である。授業内容が異なるのであれば、違いが分かるようにシラバスを改め、授業内容が同一であれば同一の科目名称に改めること。	留意事項  当該科目については、授業科目概要（シラバス）にて詳細を記載すると共に、履修に関わるオリエンテーションにて説明を行い、学生に混乱が生じないよう履修指導を行う。	履行中  当該科目については、授業科目概要（シラバス）にて詳細を記載すると共に、当該科目の開講前年度における履修に関わるオリエンテーションにて説明を行い、学生に混乱が生じないよう履修指導を行う。
	2. 教員の補充を必要とされた3授業科目については、開設時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	留意事項  平成30年度開講の「スポーツフィールドワークⅠ」については、クラス数調整により、専任教員配置が可能となった。平成31年度以降開講の「専門演習Ⅰ」及び「専門演習Ⅱ」については、開講時期までに確実に専任教員を配置できるように取り組みを進めている。	履行中  平成30年度開講の「スポーツフィールドワークⅠ」及び平成31年度開講の「専門演習Ⅰ」については、クラス数調整により、専任教員配置が可能となった。令和2年度開講の「専門演習Ⅱ」については、開講時期までに確実に専任教員を配置できるように取り組みを進めている。
	3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	留意事項  本学では、「日本福祉大学特別任用教授規程」において、必要な条件を満たし、必要とされる手続きを経た場合に限り、雇用期間を満70才に達した年度末までとできることとしている。その上で、教育研究活動を積極的に展開する上で、適正な教員編成（年齢構成と各専門領域の職位別の教員配置）とするため、「教員の教育研究活動の資質の維持向上に向けた取組（設置の趣旨を記載した書類）」のとおり計画し取組みを進めている。あわせて、助教から准教授、准教授から教授への昇任等を適切に行うことにより、専任教員の構成について一層の適正化を図るための取組みを進めている。	履行中  本学では、「日本福祉大学特別任用教授規程」において、必要な条件を満たし、必要とされる手続きを経た場合に限り、雇用期間を満70才に達した年度末までとできることとしている。その上で、教育研究活動を積極的に展開する上で、適正な教員編成（年齢構成と各専門領域の職位別の教員配置）とするため、「教員の教育研究活動の資質の維持向上に向けた取組（設置の趣旨を記載した書類）」のとおり計画し取組みを進めている。あわせて、助教から准教授、准教授から教授への昇任等を適切に行うことにより、専任教員の構成について一層の適正化を図るための取組みを引き続き進める。
	4. 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (日本福祉大学 国際福祉開発学部国際福祉開発学科)	留意事項  東海キャンパスの交通至便や、少人数で実施する外国語教育、日本語教員養成プログラム、中部国際空港内サテライトキャンパスで実施しているキャリア教育、留学、海外研修・インターンシップ等の特色について訴求した。 結果、平成31年度時点の定員充足率の平均（平成28年度～31年度の定員充足率の平均）は0.90となった。	履行中  前年度までに実施してきた外国語教育や、日本語教員養成プログラム、キャリア教育等の訴求活動を引き続き徹底して行う。また、保護者が外国籍である学生、幼少期を日本国外で過ごした学生等、海外にルーツを持つ学生や留学生の確保に向けた取り組みについても強化し、適切な定員管理の履行を目指す。

設置計画履行状況調査時 (平成29年)	同一設置者が設置する既設学部等（経済学部経済学科、国際福祉開発学部国際福祉開発学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	経済学部経済学科については、平成27年度に東海キャンパスへの移転及び、入学定員減（250名⇒200名）を実施した。教育改革では、特に就職実績向上に向けた取組を強化し、実績向上に繋げるとともに、その成果を高校訪問、オープンキャンパス等の機会において、広く訴求した。結果、平成31年度時点の定員充足率の平均（平成28年度～31年度の定員充足率の平均）は0.97となった。  国際福祉開発学部国際福祉開発学部については、上記「4. 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（日本福祉大学 国際福祉開発学部国際福祉開発学部）」の記載の通り。	履行中	経済学部経済学科については、前年度までに実施してきた就職実績向上に向けた取組をより強化するとともに、教育の特色や実績を、高校訪問、オープンキャンパス等の機会において広く訴求し、適切な定員管理の履行を目指す。  国際福祉開発学部国際福祉開発学部については、上記「4. 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（日本福祉大学 国際福祉開発学部国際福祉開発学部）」の記載の通り。
設置計画履行状況調査時 (平成30年)	同一設置者が設置する既設学部等（国際福祉開発学部国際福祉開発学部）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	上記「4. 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（日本福祉大学 国際福祉開発学部国際福祉開発学部）」の記載の通り。	履行中	上記「4. 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（日本福祉大学 国際福祉開発学部国際福祉開発学部）」の記載の通り。
設置計画履行状況調査時 (令和元年)	該当なし				
設置計画履行状況調査時 (令和2年)	該当なし				

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <スポーツ科学部 スポーツ科学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
新型コロナウイルス感染症対策による学年暦の変更。	前期の学年暦変更に伴い、スポーツ科学演習の授業順序を変更。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>[大学全体]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学教育センター教育開発部門 ※規程(「日本福祉大学全学教育センター規程」)添付</li> </ul> <p>[スポーツ科学部]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ科学部FD委員会</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>[大学全体]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学教育センター教育開発部門については、全学教育センター教育開発部門会議を月1回(8月を除く)開催予定である。(令和元年度 11回開催)</li> </ul> <p>[スポーツ科学部]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ科学部FD委員会については、月1回(8月を除く)開催予定である。(令和元年度 8回開催)</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>[大学全体]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学教育センター教育開発部門については、日本福祉大学全学教育センター規程第2条に規定する事業に関連する事項(全学的な教育改革の促進及び新たな教育手法の研究と開発)について審議する。</li> </ul> <p>[スポーツ科学部]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学部完成年度にあたる令和2年度は、次の3点を重点課題にかかげて審議する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学部教員及びスポーツ科学センター教員による3ポリシーの検証</li> <li>② 研究セミナー等を実施し、学部教員及びスポーツ科学センター教員の研究支援充実を図る</li> <li>③ 授業評価アンケートの結果をふまえ、より魅力的な授業を展開できるように検証を行う</li> </ol> </li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>[大学全体]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育研究計画書・教育研究報告書(学長に提出することを義務付け)</li> <li>・ 教員資格再審査制度</li> <li>・ FD活動             <ol style="list-style-type: none"> <li>i. 「教員スタンダードガイドブック」の発刊</li> <li>ii. 新任教員オリエンテーション(研修会)の実施</li> <li>iii. 全学FDの開催およびFD活動報告集の発行</li> <li>iv. 新任教員対象FDの開催</li> <li>v. 補助教材のオンデマンド化の推進</li> </ol> </li> <li>・ 学位取得の奨励</li> <li>・ 「学外研究」制度</li> <li>・ 学外研究費申請の奨励と支援</li> <li>・ 科学研究費等の学外助成事業への応募時における書類作成等の支援</li> </ul> <p>[スポーツ科学部]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育FD(学生像の分析、障害学生の支援など 計2回開催)</li> <li>・ 研究FD(科研費申請、倫理申請に関する手続き・留意事項など 計1回開催)</li> <li>・ 集中FD(ディプロマポリシーをふまえたカリキュラム検討など 計3回開催)</li> <li>・ その他FD(学生募集総括、就職支援など 計2回開催)</li> <li>・ 授業評価アンケートの実施(評価分析、結果公開、改善策の検討など)</li> </ul>
--



b 実施方法

[大学全体]

- ・教育研究計画書・教育研究報告書の提出および授業評価等の実施については、WEBシステム活用している。
  - ・教員資格再審査制度については、日本福祉大学教員規則第8条第2項および日本福祉大学教員資格再審査規程に基づき、任期の定めのない教員に対して、本学赴任から5年ごとに受審することとしている。
  - ・新任教員に対する研修会（新任教員オリエンテーション）については、全学開催している。
  - ・「教員スタンダードガイドブック」については、年1回発行している。
  - ・新任教員オリエンテーション（研修会）については、本学赴任後、4月に実施している。
  - ・全学FDの開催およびFD活動報告集については、全学教育センターが主体となり企画・運営を行っている。
  - ・新任教員対象FDの開催については、全学教育センターが主体となり企画・運営を行っている。
  - ・補助教材のオンデマンド化の推進については、本学のオンデマンド教材開発技術を活用し、教育デザイン研究室と連携して開発に取り組んでいる。
  - ・「学外研究」制度については、国内・国外留学制度とともに学位取得を目的とした制度を設けている。
- また、一定期間以上、本学の教育・研究、管理運営その他の大学運営に従事した教員に対して、「特別研究（サバティカル）」の制度を設けている。

[スポーツ科学部]

- ・全てのFD企画について、スポーツ科学部FD委員会が中心となり企画・運営を行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

[大学全体]

- ・教育研究計画書・教育研究報告書については、対象者全員が提出した。
- ・教員資格再審査については、対象者なし。
- ・「教員スタンダードガイドブック」については、年度初めに発行した。
- ・全学FDについては、新任教員FDとともに専門部FD（教務、学生、入試、就職）を開催した。
- ・新任教員に対する研修会（新任教員オリエンテーション）を4月に開催し、新任教員全員が参加した。
- ・スポーツ科学部における「学外研究」および「特別研究（サバティカル）」の対象者なし。

[スポーツ科学部]

- ・令和元年度におけるスポーツ科学部FDの開催状況は以下のとおりである。  
(スポーツ科学センター所属教員を含む)
- |     |              |          |             |
|-----|--------------|----------|-------------|
| 第1回 | 開催日：04/11(木) | 参加者数：22名 | (参加率：84.6%) |
| 第2回 | 開催日：05/16(木) | 参加者数：21名 | (参加率：80.8%) |
| 第3回 | 開催日：06/13(木) | 参加者数：25名 | (参加率：96.2%) |
| 第4回 | 開催日：07/18(木) | 参加者数：21名 | (参加率：80.8%) |
| 第5回 | 開催日：09/05(木) | 参加者数：20名 | (参加率：76.9%) |
| 第6回 | 開催日：10/10(木) | 参加者数：22名 | (参加率：84.6%) |
| 第7回 | 開催日：02/13(木) | 参加者数：21名 | (参加率：80.8%) |
| 第8回 | 開催日：03/12(木) | 参加者数：23名 | (参加率：88.5%) |

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

①学部教員による3ポリシーの理解と検証

学部開設以来、毎年度はじめに学部の3ポリシー及び、カリキュラムツリーの確認を実施している。また、教員には各講義の目的とディプロマポリシーにおける位置づけを確認することを求め、授業の中で学生に講義の目的とディプロマポリシーにおける位置づけを理解させるよう要請している。さらに、年度初めには個々の学生がディプロマポリシーの修得状況について自己評価を行い、その結果を学部紀要において報告している。この結果に基づき、昨年度より完成年度後の学部カリキュラム改革について議論を進めている。

②定期的なFD・SD活動の実施および日常的なFD活動

定期的なFD・SD活動を実施し、教職員の資質向上及び授業改善に取り組んでいる。昨年度は、障害学生に対する学習支援の在り方、3年次の学生就職支援について、科研費申請、及び研究倫理について、カリキュラム改善について（2回）、学生募集の課題、実技授業内容の改善、学生像の分析、発達障害学生に対する対応について等、の9回の定期的なFD・SD活動を実施した。今年度は大人数講義における授業マネジメント、実技、演習クラスの授業マネジメント、ディプロマポリシー達成度に関して、学部カリキュラム改革に関してなどについて定期的なFD・SD活動を実施する。また、本学部では日常的に各教員の授業参観を実施したり、授業方法授業に必要な機材使用方法などについて情報交換を行っており、各教員が講義、演習、実技等について授業改善を実施している。

③研究セミナー等の実施

研究セミナー（スポーツ研究サロン）の実施により研究に関する情報交換を実施し、とりわけ若手教員の研究、教育をサポートしている。

④学部カリキュラムの改革

昨年度来、ディプロマポリシーの達成状況、学生募集状況等をチェックした上でカリキュラム改革案の作成に着手している。PDCAサイクルにおけるチェック及びアクトの局面である。具体的には、ディプロマポリシーの着実な修得、学生個々のキャリアビジョンの持ちやすさ、学外者から見た学部教育のわかりやすさ等を目的とした改革が論議され、今年度7月には成案を得る予定である。

⑤大学院設置に向けた準備

昨今のスポーツ科学に対する社会的ニーズに、より高度なレベルで対応し、学部学生の学びを深めるとともに学部の研究実績をさらに高めるため本学部を基礎とした大学院の設置を目指し、昨年度末に申請を行った。

⑥新型コロナウイルス感染拡大による学部授業の対応

新型コロナウイルス感染拡大による影響で、本学は5月11日より前期授業をオンラインで実施することとなった。本学部ではディプロマポリシーを重視し、シラバスに記載している授業目標を変えずに、オンライン授業によって可能な限り目標達成できるよう、非常勤教員を含め各教員にオンライン授業の方法や留意点、授業事例を提示する等、丁寧に説明し対応している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学生に対する授業評価アンケートを、最終授業日に52科目実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

科目担当者(教員)に対しては、学内システムを利用してアンケート結果に対するコメント入力を依頼した。  
また、科目担当者以外の教員と履修者(学生)に対しては、学内システムにてアンケート結果を公開した。

(注)・「①a委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部設置の目的、養成人材像はくすべての人々（国民）が生涯にわたって、健康で文化的な生活、生きがいを持った生活を営む共生社会を構築するために、ア.文化としてのスポーツを多角的視点（人文・社会・自然科学等）から理解し、イ.学校、地域、その他の場で、真摯に人と向き合い、よりよい関係を作り、ウ.スポーツの指導力、企画力、組織力、問題解決能力を持って実践にあたることができ、エ.多様なスポーツの現場で創意工夫に基づく適切なプログラムを作成できる力を身につけ、オ.子どもから高齢者、障害者を含む、全ての人々に対応できる人材である。

そのための入学希望として、<基礎学力を有し、スポーツへの関心があり、身につけた知識と力を社会で活かしたいと考え、自己の可能性に挑戦し、コミュニケーション力があり、仲間や集団づくりに取り組むことができる人>を掲げている。令和2年度の学生募集では、オープンキャンパスや進学相談会、学部教員全員による高校訪問を実施するなどして183名が入学した。学部設置から毎年定員を十分満たしており、高校教員や高校生が本学部のアドミッションポリシーを理解し、進学先として一定の評価をするようになってきたと推測される。昨年度アドミッションポリシーに基づき、入試時の面接内容や面接の評価方法を改善したことにより、今年度も本学部が期待する入学希望に近い学生が入学してきていると思われる。他大学スポーツ科学系学部においては、各種ボランティアを募集してもなかなか集まらない状況にあるのに対して本学部では、多くの学生が各種スポーツ大会等のボランティアや災害ボランティア等に参加しているのもそうしたことの表れだと推察される。

開設年入学者のディプロマポリシーの自己評価による達成度（9項目）を見てみると「スポーツ文化を多角的視点（人文・社会・自然科学的視点）から理解している」、「人間の発達に基づいた系統的な指導方法を身につけている」、「スポーツ文化の継承・発展に貢献できる力を身につけている」、「地域をはじめとした様々なスポーツや運動の実践の場面に対応できる実践力を身につけている」、「国際社会を含む諸領域での情報の伝達・判断・理解力を身につけている」の5項目については1年終了時と比べ、3年終了時の評価が高くなっている。これらについては概ね教育効果が出ているものと考えられる。しかし、「スポーツの楽しさを体験的に理解している」、「スポーツや運動の意味や価値について理解している」、「真実を見極める「知」への探求心を有している」、「他者と、スポーツを含む多様な手段によって良好な関係を構築する力を身につけている」の4項目は自己評価が下がっている。自己評価が下がっている要因として実際にスポーツの現場へ出ていく実習、演習などの授業の中で自己の至らなさを感しているからではないかと推測している。これらについてより効果的に学習効果が上がるよう授業改善やカリキュラム改革を進めていく必要がある。

現在、完成年度後に向けたカリキュラム改革を手掛けている。今後もディプロマポリシーの効果的な修得をめざし、継続的な改善を行ない、本学部の目指す人材を輩出できるよう学部運営を進めていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期  
・令和2年8月1日 公表

b 公表方法  
・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画  
・令和7年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 ( 有 ・ 無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 令和 2 年 8 月 1 日 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。